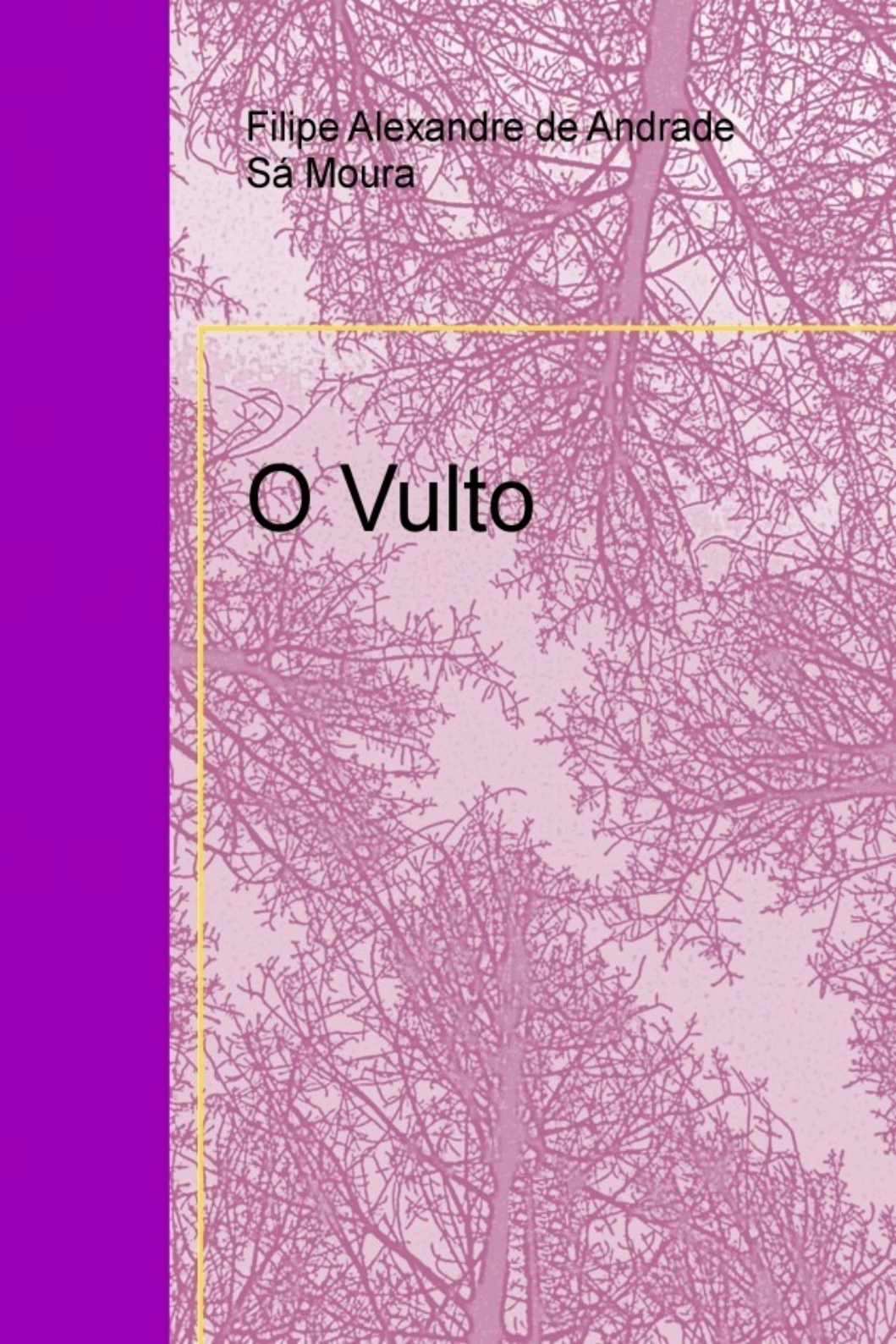




Filipe Alexandre de Andrade
Sá Moura

O Vulto



心臓が鼓動するよりも何倍も愛している...。

I Breathe Out| You Breathe In| The Same Air| Of Loving I'm all the colors to

paint your World...

...私のため、あなたがたのため、そして私を愛する者たちのために

いつか...

あなたは根を植えた...私の心に

...今日、その木は...

それは生涯の愛と呼ばれるものだ....決して引き裂くこ

とはできない...

それは生きている...私の

中に...

100%オリジナル・コンテンツ

フィリペ・アレクサンドル・デ・アンドラーデ・サ・モウラ filipe.sa.moura@gmail.com

30日（月）
2007年4月

変圧器

現実を一変させる輝く力のバランス。

配電盤 汎用電流の位置と行き先を制御する。

太陽光

内側を照らす
曖昧な地上性。

11

光り輝く泉 生命と光り
輝く泉の中で、彼らは雫のように地面に落ちる。

灯台

ひたすら異常の動きを探す。

感電ノイズ神経が心臓
の感電でまばたきする。

電磁波

波打つような思考が波の輪を行ったり来たりする。

電流

私を波の回路へと誘うこの電流は、私の体を駆け巡る。

電気インパルス

電氣的に循環するインパルスに揺さぶられる。

真実の光

衝動的に発見したときこそ、真実は輝きを増す。

ブラックアウト

光り輝く感覚に苛まれる声は沈黙。

キャンドルライト

痛みの再燃
蓄積された溶けたワックス。

電動ドアは叩くと静かに開

くが、開く暇もなく閉まる。

チェーンソーは、ダークエネルギーの振動

する憎しみの根を切り裂く。

感電死記憶を消す光煙

の中で感電死。

電磁波の乱れ無限の電磁波の乱れが私たちの心に沸き
起こる。

30日（月）
2007年4月

13

電光石火の光線

エネルギーギッシュな心を麻痺させる稲妻のよ
うに。

極悪非道なライト

それぞれの存在は、極悪非道な光を持っている。

点滅ライト

点滅する光に悩まされる
途切れることのない電流の通過。

不透明な光

不透明なライトは、暗い光の中で奇跡的な存在を照ら
す。

電線 電線が私の体内を
走り、エネルギーで振動している。

第10回 電気回路

上がって10番目の電気回路に向かうと、停電している。

エクスタシーと感覚の電
気が落ちる。

ライトカット

シャープで明るいエコー、
光り輝き、砕け散る声を掴む。

14

きらめく闇

眼球の向きを変えて歩く生き物は、
曖昧に点滅する。

蛍光

花は咲き、雷のように四方八方に落ちる。

「影を落とす

刺すような稲妻が、他人の感覚や表情の喜びを
覆い隠す。

白熱

電極によって固定された深い弧が魂を横切る--ダイナミ
ックで白熱した衝撃。

感電しやすい。
強く決然とした光を求める気持ちの不調和を突きつける。

トワイライト欠席

私は自分の存在の鋭い光に優しく包まれ、稲妻に優しく
酔いしれる。

回想私は明るい日に夢中
になって目を覚ます。
光の中で、私はコンステラー・コミュニティ全体に力とエ
ネルギーを配る。

15

2007年5月23日（水

脅威の光

療養の灯を脅かす
それは私たちを苦しめ、危険を予感させる。

プレゼンス（存在感）の
光田舎的な瞬間に寄り添ってくれる光で、秘密にして対峙することはできな
い。

レッド・ライト

強烈で、神経を遮断し、加速する赤い光。

ショック

衝撃がザルパレスとなり、インパルスが広がることなく
心を汚染する。

会社の光に照らされ、会社の光を感じないもの、与えられないもの。

サンダー

雷の音、砕ける音
快楽に飢えている。

強力な光

強力なライトによる非難
声による指導とは無縁の生活

畜生

強力な、引き裂くような光線が、このできない絆を断ち切るように。

フロストライト

覆い隠された意識
そこに大量の光線が差し込む。

強烈な光

黒い光の明るく輝く

2007年5月24日（木）

光の力 光の癒しの

力は、絶望の包皮の中にある理性のフィラメントを照らして。それは
光は私を恍惚とした流れの方向へと導いた。

日常生活の中で、病んでいて理不尽な未来を照らしてくれた。
ダイナマイトのように閃光を放つ。

恐ろしい。

そう、その動きによって癒され、私は厳格さと厳密さの肥溜めから抜け出した
のだ。しかし、この光が私の過去を照らすかどうかはわからない。なぜなら、
この光にはエネルギーで動く光がないからだ。つまり、エネルギーの両極、2つ
の極がある。そして私は、暗くて呪われた方ではなく、ポジティブで癒しの方
に当たった。この光は、感情ではなく、即物的で衝動的な、移り変わりのない
、感覚にとって不透明な黄昏時の、感情と理性の明晰さから来るものだ

その光は強く、強烈で、それに逆ら
う者は皆、その光線で焼き尽くされる。光は強く、強烈で、それに逆らう者は
皆、その光線で焼かれる。光に加わり、感情、感動、生きる喜びを味わい、地
球上で私たちを動かし、エネルギーを与えてくれるものを全力で楽しむ、

もうエネルギーや衝動的な強さはないだろう。自分の持っている才能をつかみ、青い光線を切り裂くようにそれに向かって進み、生きられない息苦しさや、光のないブラジルの音のように私たちを犠牲にする悪意に満ちた突き刺すような思考から自分を解放するのだ。あなたの中には光があり、雷があり、嵐があり、エネルギーがあり、光がある。

原初的な火、私たちを横切り、私たちを養い、時には私たちを燃やすこの火は、私たちに強さと活力を与え、そのぼんやりとした無力な衝撃に耐える力と活力を与えてくれる理性やエネルギーの感覚に対して、いかに人生が一過性の、対立する光でできているかということである。

18 しかし、そのエネルギーは存在し、その姿を現すかのように、視覚に浸透し、時間の静寂を通して思考の明晰さを示し、沈黙するかのように固まる。

このことは、光の速さ、一瞬、一瞬、一瞬の速さ、一瞬の速さにおいて、他者がネガティブあるいはポジティブなエネルギーによって発信する不名誉な無能力を享受していることを意味する。しかし、ブルーレイの光が威圧的であることは事実であるが、そのエネルギーで自分自身を運びたい人は誰でも歓迎する。

プラスにもマイナスにも作用する。一方、黒いファイスカの裂傷効果は、感性のニュートラルな極で起こり、快楽と輝きを渴望する活力あるエネルギーの狂気の中に運ばれる。

自分のエネルギーを使って光に打たれると、灰のように燃えるような笑顔になり、温もりはないが、興奮すると必死になる。もう一方の象限には、クリスマスツリーのイルミネーションや、私たちを注意散漫に駆り立てるストレスなど、屈託のない思考を持つブルー・レイがいる。ブルー・レイは進路、方向、方角を心得ており、エネルギーや光子を枠にはめ、短絡の可能性を見極める洞察力を持っているが、活気にあふれ衝動的で、常に光ではなくブルー・レイの速度で移動する。私たちが一瞬を体験するのを妨げる、現実的で、人を寄せ付けずに邪魔をするエネルギーに直面するのは、このエネルギーの移行においてである。

ソニックだが、パワーはない。

直接対決として、光り輝く人々に抑圧され、現実のものを歪め、非現実のように見える不透明な光がある。

19

現実であり非現実のように見えるが、架空の光もある。

それが想像の光の力だ。

ブルーレイ

激怒したブルー・レイは私の存在に侵入し、偏見と不寛容の汚れた毛穴から溢れ出るエネルギーで光り輝き、このブルー・レイが直撃しようとしている。

人工光

すべての存在が生み出す光は、無邪気な人工物にまみれないようにするのが難しい、恥知らずな作為に包まれている。

2007年5月29日（火）

レーザー光

このレーザー光線は浸透性があり、目に見えないもの、知覚できないものにも浸透する。

それは先見者であり、先見者にとっては異質な思い込みや岐路の達人である。知覚しにくく無害なビームは、思考や先入観を毒と一緒に吸い上げ、毒そのものとその解毒剤へと導く。

屋根裏ライト

20 この煙は、方向と行動の緩んだ頭部に碎け散った記憶のぼろ布に覆われた心の光を突き刺す。

熱狂的で、動きが遅く、大衆的な思考

協調性がない。のんび

りとした時間を過ごしていると、彼は調子に乗って、その場を離れてしまう。

電流刺激で脳が光り、興

奮する。

それは彷徨うようなも

のだ。体内で強まり、催眠術のような、麻痺させるような光を放つ。

ナンセンスな言葉。この屋

根裏部屋の明かりは

最先端のエンジニアリングの折衷的なルーツ。ある

人は小さな猿を、ある人は屋根裏部屋だけを、ある人は正面玄関を覆い隠す屋根裏部屋の明かりを、私は思い出や考え、要するに大義名分なしに生きた人生

を屋根裏部屋に浸透させることができればと思う。

思い出とともに。屋根裏
部屋を永遠に照らす思い出、そして常に開いているものもあれば閉じている
ものもある。
トランクス。

5月30日（水） 2007

稲妻

熱を帯び、暗くなり、静寂に包まれる。しかし、きしむ音は息苦しく、圧倒的で、
、生きていること、存在していることへの怒りが伝染する。

他のライトやイルミネーション、あるいはシンプルな

ため息に彩られ、最も衝撃的な沈黙を破る過ぎ去る闇。雄弁なうめき声に象徴さ
れるように、あなたの意識を消し去り、この世に別の稲妻が落ちる瞬間に静止す
る機会感覚をないがしろにする行動を促す稲妻。

21

光の灰

熾烈なアイロンの熱であなたに印をつける灰と

過去からの光の灰と、

あなたが忘れずあなたに反抗する遍在する未来。瞬間の衝動を断ち切る
と、ゆっくりと、涙ながらに、そして進むように広がり、「しっかりしろ
」と語りかけ、失禁した言葉の記憶に溺れ、光への渇きを注ぐ光の井戸に放り
込む。で

あなたの心の中で口笛を吹き、瞬き、何かを求める欲望に燃える魔法の体の
燃える灰、男性的で男らしい欲望、あるいは女性的で官能的な欲望、この二重人
格は、どちらにも屈しない二重人格のようにあなたを苦しめる。この光の灰は、
暗く軽薄なものを温め、その熱の中に、大陸と宇宙を越えて広がる、貪り食う雨
の守護を持っている。
時代を超越した。

快樂の光の中で.....私たち
を侵食し、贅沢な洞察を私たちに提示し、セデンタリープレジャーの化学がも
たらす無数の脱プリミングの快樂と不安へと私たちを導くその光。
他者についても同じことが言えるが、ちりばめられたものではなく、他者の喜
びの素朴な表情に刻印されたものである。
感情。奇跡的で燦然と輝くよ
うな喜びを感じ、喜びの過剰によって感じる収縮を和らげる感情。
感覚と快樂。快樂の光は、
後退も揺らぎもせず、髪とぶつかり合う中毒性を発達させ、それを糧とする。
否定される快感に狂う。

催眠ライト

光の催眠術のような顔を手探りするのは、私たちを元気づけ、光があると信じさ
せるこの光への中毒願望をほのめかす感情だ。
私たちは、クレジットもデビットもなく、それを通して...

催眠術にかかったような快楽に溺れる超越的な存在の催眠術のような生活として、タグ付けされた。

慎みと怠惰にまみれた髪と眉毛を振り乱す悪徳。奔放で純粋な反応は、光を得たという純粋な願望に向き合い、光に養われ、加熱中の粘土のように集まったルースストーンに導かれる。

2007年5月31日（木

23

強烈な光 激しく、

この光は、動きから疎外された肉体の間で自らを分裂させ、照らしやすい2つの道の間を揺れ動くが、電流はなく、自給自足であり、私たちを養い成長させる全身的な催眠の苦しさで落胆の中で生きている。しかし、意識的には強烈な光であるため、スイッチを切っても力をキャッチし、自己発信する。

2007年6月14日（木

サイケデリック・サンダー

このサイケデリックな雷雨に覆われることで生まれる異常性を支え、高める勇敢な雷雨のノイズの中に、サイケデリックなものが絡み合っている。

コヒーレントな光は、ここでは根絶されている。

黒い雷は自らを籠絡し、理性の吸収という最も奇妙で深い感覚の中で唸り声を上げる。

サイケデリックな光は、その中に身を人、創造や単なる耽溺を望まず、淀んだ斜めの色に染まった偏見に満ちた千鳥足の快樂を楽しみたい人を苦しめる。

私たちが目を掻いたり、瞬きしたりするときのように、私たちを苛立たせる妨害とはかけ離れた、もうひとつの世界を想像する人たち。この運動は、他の運動から疎外され、遠くの心に火をつけ、粉々にする。

または激昂している。

雷はサイケデリックで、霊を追い払うが、霊は存在しないので、霊が姿を現すことはない。それは、ボギーマンのような噂と強迫観念の並行現実であり、ここでは、実際には存在しないにもかかわらず、誰も奇妙な個性と前世の認知を餌にしていない。

だからこそ、非現実的なものにはすべて、時を超えた歴史があるのだが、同時に恐怖もあるのだ。恐怖は、私たちを5次元の地平に追いやり、多角形的で直線的だが、どんな痕跡にも影響されないし、通り過ぎることさえできない。

アイデアは、ぼんやりした理性のフィラメントから開花したり成長したりするのではなく、登場人物の衝動から生まれるものののだ。

すでに見て記憶し、動きを模倣し、その瞬間に適応しているが、すべて意識的で最小限の計算しかしていない。計算がなければ、雷は本物であり

予測不可能だから、サイケデリックなエネルギーの源を他に考えるのはばかばかしいほど、本物の自発性がある。

往時の首はギシギシと音を立て、粉碎され、今や黄葉し、ビブリオフィージに食べられている。

そして、何の忍耐もなく、記憶の廃れや、作られたもの、作り直されたものを自分たちの好みに合わせて威圧する。

測定器に囲まれたアビシニアのラベラーたちは互いに祝福し合い、アビシニアの雷が笑う。

過去の光に照らされて生きる

者たち、つまり、天体を侵食する彼方からの死にゆく者たちに、起きているという事実、即物的な事実の中で、彼らはこう勧めるのだ。

しかし、これらはすべて光の問題であり、より強い光の問題である。

しかし、それらはエネルギー放射であり、過去のものとは互換性がない。

25

過去とは互換性がなく、過去のものですらない。したがって、過去の光はラ最も重要なことは、いつでもスイッチを入れたくなるような明るく輝く光を覆い隠さないことだ。

インスタント、インパルス、モーメント。なぜなら、過去は現在、瞬間、衝動、秒や分数と交差するが、そのエネルギー的な流れや光輝には影響を与えないからだ。それゆえ私たちは常に、顔に吹く風を切り裂く恍惚電流の力強く清冽な光、光を作る喜びや照らされる喜びを中心に動きを回転させる意図とは無縁の快樂のために時を刻んでいる。

マスクのない光のインパルスの動き、一瞬、一瞬に生きる光、単純なクリック、それだけ、過去の光の周りをただ這いずり回り、放射線で天体にまわりつく嫉妬と憎悪の鋭く危険な視線と燃えるような視線の中の光。放射線は放射線であり、それは汚染なのだ。だから、放射線を出さずに、いつでも、どんなときでも、自分の光のスイッチを入れることほど、強いことはないのだ。その光には色彩があり、その光に反射して
エネルギーギッシュな太陽のような黄色の色合い。実際、光はあまりなく、あるのは存在の病巣だけだ。

26

視覚化できないものを客観化する、バランスの取れた傾向が残っている。つまり、それは存在せず、現実ではなく、私たちを暗示する強力なレイの結果なのだ。

意識。しかし、意識とは一体何なのか？

本当に意識的なもの、無意識的なものというのは、それがどんなに理にかなっていて、私たちがみな瞬間に向かっていることをどんなに理解していても、物質化できない障壁なのだ。先入観にとらわれた障壁を具体化し、実際には障壁など存在しないにもかかわらず、越えられない鎖があると言うこの退廃。私たちは皆、同じ幻想の流れの中で生きている。他の靈魂への渴望という、実際には影響しない流れの中で生きている、

光には力や尺度が必要だと決めた多数派によって、過去の光の中で言われるままに生きる想像上の天空生物がいる。
光が消えるまで、その光を見つめている。

2007年6月22日（金）

自然光

この明確で自然な光ほど自然なものはない。適合、逆境

として機能する単なる免罪符である。

意識的ではあるが、自然であるがゆえにそれほど深くはない態度や問題の積み重ねである。ナチュラルとライトの間には微塵の衝突もない。だからこそ、ナチュラルは私たちを包み込み、安心させ、穏やかな気持ちにさせるのだ。空気、私たちを取り囲む自然の喜び、鼓動と逃走、そして何よりも、軽いパフを愛する人々のための優しいタッチ。

27

27日（水） 2007年6月

核エネルギーの光強力なエネルギー

源は、私たちに変容と心理的変異を放射する。この生き生きとした光は、変異を超越した存在であり、実際に変異を受けることはないが、孔雀のように、私たちが理解し、私たちを行動に導く衝動に浸透する存在の光り輝く影響によって成長する。この衝動はダイナミックで、爆発的な放射を伴う明確なものだ。それは、変容の力の最大指数であるため、バランスを崩すことが不可能な光を修正し、崩壊させる核剤となる。そして、世界との関係において私たちを高め、力を与える変化、変革ほど強いものはない。

放射線

28

向精神薬ライト

まるで魔法か調和のように、彼らは着陸し、浮遊し、向精神薬のような光をはためかせ、私たちを魅了し、私たちが良い願いとして望む現実を変えてしまうが、その世界から戻ると悪い予兆があり、タイムマシンのように私たちを現実の次元から連れ去り、空想の世界、非現実の世界、快楽の世界へと連れて行く。

だからこそ、自分にとって有害な現実について狂っている他の人々から見れば、3次元の感覚活動やダークエネルギーが存在するのだ。

さまざまな視点と官能的な次元で地歩を固め、散発的なエピソードにとどまる人々が楽しむ向精神的な光。自然そのものが光なのだから、世界や光や現実の間に対立はない。

2007年7月20日（金）

サンダー

苦しく光り輝く裂け目のように、無定形で透明な光の生存者たちの大地を糧とするサンダーが荒れ狂う。苦渋に満ちた盲目の肉体の中の避難民は、この光と力の溶岩に煽られて、制御不能の怒りを爆発させる。光と従属的な力のない暗闇の中で、突然の停電に侵されることを許し、エネルギーギッシュな雷のマグマに温められることを許し、光の幸福を強める存在の光を燃やし、養う。無個性な

存在の発光ビームにおける光の幸福。

存在のコス

29

2007年7月21日（土）

発電機

ラブ・ジェネレーター（発生装置）！

この非バーチャルな肉欲と、感情的・電氣的結合エネルギーの開発に不可欠な何かを渴望する透明なキスの感情的結合を煽るものは何か。

このジェネレーターは、朝食や夕食を食べるとき、あるいは日々のエネルギーを養う水など、日常的な表現に隠された顔でエゴや人格を養う。

仮面も涙ぐましい思いもなく、私たちは現実には愛のエネルギー、あるいは、決して断絶することのないケーブル、腐敗することのない、しかし常に真実であるエネルギーを燃料とする、突き刺すような視線と愛と孤独を代表する電撃的な切断エネルギーの愛の中にいる！

常に衝撃的で、彼の視線は欲望と少しの忍耐に飢えている。

単調な日々と、この電氣的な環境では何も表さない斜めの顔によって生み出された、ゆるやかな糸。現実の生得的で解き放たれたモーターの想像力の中に飛び込もう。モーターライフに不可欠な接触、つまり、現在に存在することと存在しないことのコンセンサスの現実のモーターだが、意識の欲望にはほとんど知覚できないが、そうではない他の現実からは切り離されている。

が！

それは機会の即時性の意味で常にそこにあるので、手段は手段と利用可能なリソースの愛の発電機の思考の中で唯一の水のようなスリップになることができます。生成する愛については、それは常に接続されており、まさに見下しのその存在で、任意の非仮想的で制御された手段を探しているので、それはそれが生成する喜びから自分自身を疎外することはできませんし、それはあなたがいつも押し殺したいと思っていた魂の部分のそれらの常に存在する顔の中で増殖する。

エネルギーは一つであり、満足感において多文化的であり、様々な現実を発展させる満足感である。ルミナス・ドラゴンは光を放つことができる！

電流 私たちを貫き、毎日私た

ちを活性化させるこの電流は、私たちに輝き、歩く存在の力と擬態を与えてくれる！ 二元論的で抑圧的な現実に向かい、光の力にも病める抑圧の力

にもなるからだ。

その代わりに、革新と充実の精神を養う化学的・反化学的回路のポジティブさと超越的現実を養うのだ。

伝達。思考の伝達は現実のもの

この回路は、抑圧された感覚や快楽という時間を超越した空気の中に広がる電流を持っている。

生きるため

に。そのため、これらの衝動は私たちの理性に影響を及ぼし、時には私たちの思考に衝突が起こったり発展したりする。

の外側にある。

ブルーライト

強い感情に誘発され、青い光は橋や階段を渡り、糧となる感情のパワーに染み込み、そのスピリチュアルな可能性を発展させる。

その超高感度なビームは、より青く、より強く、より強烈なものを求める雄弁な友情のはかなさの美しさを包み込み、このヘルツ波の中で感じたり疎外されたりすることの深遠な影響を私たちの星座に展開する。

このパワーは、青、深く永続的な友情に影響を与えるターコイズブルーの色合いの中で生きる感覚を奪われた斜めの心に影響を与え、狂気と快楽の魔法のビームをその中に運び、稀有な美しさと爽快なブルーの恋人たち。たそがれの強さのフィラメントの中で、それは畏敬と沈黙をもって悪と快楽を歓迎し保護するエネルギーを発展させ伝達する。

32

本質的で永続的な友情へ。彼女は恋に落ち、理性を奪われたかのように、しかし感情の糧として、快楽と欲望の喜びをもたらす。

この青い光は、時間の経過とともに空になっていくが、現在の未来では消えることのないエネルギーの蓄積の中に横たわり、巻き上がっていく、言い換えれば、制御不能な光り輝く喜びという点で、私たちを進化させないこの保護的な光が常にあるのだ。

23日（月）
2007年7月

電気ケーブル不安の振

動電流が、希望と新しく驚くべきものを送り込む電気ケーブルを通して、私たちの体を駆け巡る。動きに麻痺が生じ、現実の枠にはめられた緊張が高まり、コントロールされた慎重な動きで、私たちは思考の階段を下りていく。

この思考の梯子の上で、私たちは行動や表情や動作を分類し、人生の瞬間の下降と上昇の中に身を置く。この思考の梯子の上で、私たちは行動、顔、動きを分類し、人生の瞬間の下降と上昇に自分自身を適合させる。光は、21世紀に蔓延する現実の狂気、エネルギー、魔法、幻想、すべてが見かけの調和を保ちながら、あなたをノンストップで連れて行くエスカレーターを供給する。

足元に気をつけて、誰もが階段を使うわけではない

33

人生のジェットコースター、階段を上り、立ち上がる人々がいる。

それともバランスの問題だろうか？ 力のバランスは、各存在のレベルにおける運動のバランス、下降と上昇のバランスにとって基本的なものである。

傷ついたり止まったりすれば、それはあなたを考える存在の光へと導いてくれる。

道を譲る可能性のある外力のバランスがなければ、この階段は堅固で、生命のサイクルである最も重要な電気ケーブル、地球を養うエネルギーに到達する希望のケーブルによって支えられている。

2007年7月24日（火）

それは、現実を前にすると
崩れてしまう、すべての光の発泡のような幻想だからだ。

外的なもの
。悪意と偽造に恵まれ、膨張し、汚染し、すべての思考を占有し、支配され
、支配されることを許す愛のような発泡性の欲望の狂気の散発的なエピソード、
これは活性化エネルギーの交換であり、決して消えない発泡性であり、
光り輝く内容がそこにある。

34

2007年7月27日（金）

ライトアップされた空

照らされた空の完璧なバランスを達成したいという願望ほど強いものはない
。なぜなら、星が空に生命を与え、思考やアイデアを、あるいは実際、願望
から現実へと動かすからだ。

星々の絶え間ない相互作用を求める星座のエネルギーに照らされた空ほど美
しいものはない。星々の力は唯一無二のものだ。私が言うように、変化への
意志と願望に照らされた空を持つ魂ほど強いものはない。

2007年7月29日（日）

エネルギー漏れ

宇宙的な現実を解釈しようとは思わない。政治的な正しさのための仮装であることは間違いない。純粋なエネルギーの魂よ、自らを魔法に変え、事実の真実と物事の絶え間ない変異に対する衝動的な流れを持たない心を飛び越えなさい。

感情の恐れと苦しみから自分自身を解放し

そして何よりも、私たちを駆り立てる変化である人生の突然変異に苦しむのだ。

35

28日（火） 2007年8月

生命の光

狂気の情熱は水没する。なぜなら、私たちは本能的

に愛し、愛されたいと願っているからだ。

ドス。

情熱と幻滅は、さまざまな幻想への道を開く。惑わされ、愛に溺れながら、私は真に愛するという方法論全体に集中し、集中する。

あるいは偽りである

。愛されている者の行動領域で裸になることで、その存在の真の正体に直面する。そのため、愛されることは、なぜ自分が愛されているのかを深く意識することを必要とする。しかし、喜んでお返しをすると同時に愛するという、必要な二律背反が存在する。この弁証法は、論理的には誰も何も享受できないのに、 $1+1=1$ と仮定している。

だから、論理的には $1+1=2$ 、正しいのだが、その結果が態度や価値観、行動全般における技術的な結びつきでなければ、その行為は生産的なものにならない。

愛生活。この真実だ

けが喜びの源なのか、それとも個人主義者は別の行動を望んでいるのか？

真の自由としての行動

論理的か非論理的かはあなた次第でしょう、私は絶対的な確信を持ちたくないのです、だから私は時々自分を尻に見立てています。

私はそのためにここにいるのではありません。私はそのためにここにいるわけではない。実際、私は狂気に対する恐怖心を持っているし、狂人は特定の状況や他者によって判断されたときにのみ狂人となるのだから、つまり、それはしばしば「生息地」に依存するのだ。この推論から少し外れるが、私は狂っていて、何人もの人を好きになってきた。

愛と、もっともっと…。なぜこ

れほどまでに愛の野心があるのか。私たちは皆、自由なのだ。

恋の愚行を犯すために、私たちは無防備になる。

しばしば操作される。愛することが真実であると信じたい。なぜかという、愛されてきたからだ。愛情を目覚めさせ、生命の叡智を誘発するその感情、愛するという行為、そしてその愛をはっきりと自発的に発信すること、私には愛される権利があるから欲しいのだと言うこと、そして、涙のない道で、たったひとつの心からの努力によって、互いに愛し合い、生命に光を与えるからだ。

しかし、痛みはない

。という贈り物を素晴らしい存在を楽しもう。

最大前駆エネルギー。

光はビームとして再現され、まさにそのビームを照らす。

太陽系だよ、信じてくれ。

愛の光は、接触によって広がるものだからだ。

これらの活性化するエネルギー

37

そして方程式を $1+1+1+1$ に成長させる。.....=

より無限に。さて

、愛の分野には磁力があり、知りたい、満足させたいという欲求を引きつける

魅惑的な力がある。

欲望を満たすために、あるいは単に楽しむために。

1日（土）
2007年9月

エネルギー協会

光：熱：太陽：パワー：隔離：唾液：キス

共有：感情：喜び：パーティー：誕生日

: 年 : 年齢 : 老い : 忍耐 : 我慢 : 達成 : 犠牲 : 痛み : 癒し : 医者 : 健康 : 活力 : 精力 :
力 : インポテンツ : 欲求不満 : 苦しみ : 倒れる : めまい : 気が狂う : 病院 : 入院 : 剥
奪 : 欲望

意志 : 望む : 勝つ : 征服する : 戦い : 戦争 : 死 : 失う : 消える : 不在

孤独 : 思想 : 創造 : 発明 : 嘘

残酷 : 不道德 : 罰 : 懲らしめ : 叱責

: 罰金 : 警察 : 保護 : 安全 : 安定化 : バランス : アンバランス : アブノーマル : 病気 :
精神医学 : ヘルプ : セラピー : クリニック : 注射 : 看護師 : モルヒネ : 薬 : 錯覚 : 幻滅
: 不安 : 緊張 : 乱闘 : 喧嘩 : ファイター

勝者 : レース : 競争 : アドレナリン : 恐怖

恐怖 : 疑い : 質問 : 答え :

質問 : 好奇心 : 興味 : 満足 : 喜び

オーガズム : 感覚 : 良心的 : 責任 : 罪悪感 : 有罪 : 無罪 : 自由 : 自由

正義 : 正直 : 真実 : 誠実 : 非現実 : 存在しない : 想像力 : 創造力 : 夢 : 眠り : 休息 :
静寂

冷静 : 停止 : STOP : サイン : シンボル : ドローイング

鉛筆 : 消しゴム : タイヤ : 道路 : 旅 : 港 : 列車 : 糸 : 針 : ピン : 縫製 : 操作 : 介
入 : 変更移行 : 段階

スケーリング : 分類 : 索引付け : 用語 : 単語 : フレーズ : 対話 : コミュニケーション :
表現 : デモンストレーション : プレゼンテーション : イントロダクション : 前文
: Introit : Book : Leaf : Tree : Nature : Wind :

空気 : 海 : 火 : 地球 : 太陽系 : エネルギー : 光 :

パワー : BLUE RAY :)

4日（木）
2007年10月

エネルギー活性化 満足で不満を

生きる

繁栄の光 私はあなたの世界を

彩るすべての色である

39

7日（日）
2007年10月

麻痺する光

もし続けたくなければ、何かが私たちを立ち止まらせるだろう。しかし、それが感情や感覚、刺激を生み出す行動であるなら、なぜ立ち止まるのか？ まるで無反応の子供のように私たちを麻痺させるエネルギーを、なぜ解放するのか？ 勇気よ、私の愛する人、この言葉は裁かれるための命令であり、誰が理性の審判を下すのか、誰が正常で誰が異常なのか.....誰でもない！

私たちは皆、信仰を持っているし、私は信仰を持っている人たちを信じている。、欲望と欲望の疑念は全知全能のまま存在し続けるのだが、暗示と欺瞞に満ちたハーブのように、幻覚のような反響とともにサイレンの音を伝えるのだ。私たちには2つの耳と1つの口があり、話すことの2倍を聞くことができる。沈黙は行動であり、甘えやコントロールの欠如ではない、沈黙に抵抗できる者はほとんどいない。試してみるべきだ。沈黙は無言だが、衝動性や欲望を渴望する制御不能な者にとっては完璧な武器として機能する。だから落ち着いて、自分の中の沈黙に耳を傾けてほしい！

10日（水） 2007年10月

ある日突然、稲妻が光り輝くとしたら

、それは破壊的で、恐ろしく、騒々しく、容赦ないものだろうか。

エネルギー

な...人間と同じように、それぞれの光線は異なる特徴、異なる行動様式、異なる光、言い換えれば、それぞれの光線／存在はユニークで排他的だ。ある日稲妻であったとしても、それは少なくともオリジナルである。稲妻にはそれぞれ独自の作用の形があり、ちょうど人間にもその作用が瞬間瞬間に現れるのと同じである。

瞬間。私たちは

光線／ビーイングに作用し、その方向と目的地を変えることができる。目的地と

ある日、私はコーランの信奉者と信念と信仰について語り合った。彼は次のよう話をしてくれた。サイコロを投げたのは誰か？

しかし、この話とは別に、私たちには行動があり、環境とともに行動する光線／存在があり、それぞれが自分のエネルギー／形／行動でサイコロを投げるのだということをお伝えしたいのです。

12日（金）
2007年10月

41

人生の光で卒業した父の教え

私の教えに貢献してくれた父に感謝する。

また...あらゆることを少しずつ...そうやって人は形成されるんだ...人生に気を配っていると...

私たちを取り囲むものすべてに...感受性を持って

反射光

I Reflect Then I'm Mad

28日（日）
2007年10月

明るい朝

カナリアが鳴き、魚が泳ぎ、木が呼吸する私の世界で目覚めるのは、なんと素敵なことだろう。私の共犯者を紹介しよう：

歌で魅了するピンタス・カナリア。水中を泳ぎ、滑空するスマーティー・フィッシュ。そして、呼吸とインスピレーションを与えるアマゾン盆栽。

私の世界には、この3人の光り輝く刺激的な存在に加え、もう1人、窓の下に地球儀がある。

20年前と同じように世界をトータライズしている。

42 例えば、まだソビエト社会主義共和国連邦があった。地球儀の下にはこのバラがあり、ひとつはそのままの色で、これは私にとって忍耐を意味し、もうひとつは緑の濃淡で描かれている。

それは私にとって希望を象徴する強い世界だ。私のこの世界で、私は書き、想像し、そしてまるで自分が平静であるかのように感じる。完璧な暖かい雰囲気と明るい朝の中で、私は、ここで友愛の結合のバラを想像したいと願う、愛に満ちた魂のために書く。

2007年11月20日（火）

平凡な"フィリペ・モウラとの200日"いつもとは違う現実に見
覚め、このブログを通じて書くことの分野を開拓することは、私のキャリア
の幅を広げることになった。

私の存在私

は思考がどのように伝達され

私はそれを光とそのいる。

私たちは皆、異なる視点からどう考えるか

流れに従わなければならない。魂には動

揺する瞬間がある。

自分自身を見る目は、必ずしも単純ではない。

エネルギーは拡大する。悪い行

いをする乱れた心が蔓延する。

のデータがある。

ユニゾンの声は一人の声より大きく聞こえる。

言葉は表現芸術である

43

この瞬間からインスピレーションが生まれる。心臓の鼓動は

、そのリズムを広げていく

静脈を通して。

弾圧は静かに行われる。

どんなものにもQがある。

私たちは皆、悪について考える。時

には黙らされることもある。

私たちは皆思っている。

記憶はいつもそこにあるわけではない。憎しみを実践するな、

それは悪いことだ。

誰もが適切なタイミングでチャンスを得られるわけではない。時に私た

ちは、自分がそうさせるからこそ苦しむのだ。私たちは皆

、表現の自由を持っている。真実ほど正直なものはな

い。

私にはさまざまな表現がある。元気でいることは

バランスが取れていること。

バランスとは日常のサイクルである。緊張すること
とはバランスを崩すことだ人はコメントをした
がる。

私たちは皆、純粋さを持って

いる。エネルギーの源。

普遍的な愛は思いやりを生む。異常なのは、何も
起こらないことだ。私たちは皆、忘れたくなると忘れ

てしまう。常にいくつかの視点がある。

考えは多いが信念は少ない。取り返しのつかな

いこともある。

誰もが不公平にさらされる。愛は喜びの源。

いつも孤独で、守られている。

考えるのが嫌いな人もいる。

良心は私たちを照らすランタンである。

誰にでも悪癖はある。時に

は恐れもある。みんなくだらない話を

する。私は誰のために書いているので

もない。

誰にでも思い出したくないことがあるものだが、悲しいときにはそれを知

り、常にそれを認めることはいいことだ。

何も隠さない。私たちは皆

、弱さを持っている。私たちは皆、何かの喜び

を感じている。

チャンスが来ればドアを開ける。他人に対する気持ちがある。誰も誰

のものでもない。

を輝かせる。

友情は常に良い原則である。

もう一人の

私何がポジティブに見えるか、直感に従いなさい。

私たちは皆、愛されることができる。
光の発生装置。愛さ
れているとき、私たちはその気持ちを尊重しなければならない。
メンツ。
愛し合って出生率を上げる。いつも岐路に立たされる言葉。確
かに反感を買う言葉だが、その理屈はある。
苦しみを避けるために。
「老人にあるのは知恵ではなく、慎重さだ。
CIA "だから聞いてくれ！ 私
たちは皆、善と悪を知っている。
狂気はある種の正気だ。本当に知ること
が重要であり、可能であれば
人生の学校を卒業した。
あなたのため、私のため、そして愛する人のために自分を変える
。進化のた
めの変化。

45

2007年11月27日（火）

電撃的な提携

僕だ！
私はそれを
感じる！
反省してい
る！
わかったよ！
カブト

そして一日中エネルギーを吐き出す！ 光は光
を引き寄せる！

力とは知識である！ 知ることは

学ぶこと

学ぶとは発見することであり、感じることで

ある！ 感じることは反省すること！

捉えることは学ぶこと！ 学ぶこ

とは気づくこと！ 自己に気づく

こと！

私、あなたはあなた、彼、私私、彼らは彼ら！ 私たちは皆、

私である！

そして私は彼らである！

そして彼らは私たちです

そもそも何者なのか？

私たちは存在する！

私たちが存在するのは、私たちが創造されたか

らである！ 受胎による創造！ 生命の光！

創造の光！ 想像と現実

私たちが望むものと、実際にあるものとの二元論！ 現実の解釈である事実！

私たちを取り巻く現実！ 私たちが創造された

生息地！ 私たちを変える環境

変革／変化！ 革新と変化！ 変化のサイク

ル段階！ 移行の段階！ 移行の障壁！

自転車と移動の障害を克服する！

創造され、想像されたもの、あるいは現実のもの！

サブコンシャスとコンシャスの間の困難と問題の相互作用！

意識と現実！ 無意識と投影！ 自己の投影！

存在する！

私が存在する！ 私たちは一つの私です

a WORLD！

世界が、私が、私たちに変身したのだ！ 私たちはその世界に対して、そして彼らに
対して行動する！

私はあなたの側で行動する！

あなたがたは、その人たちの上に、あなたがたの贈るものを置く！

彼らは世界なのだ！ 存在の世界

なのだ！

生きているか、いないかの存在！

光を生み出す CAPTURE LIGHT！

光のエネルギー！

エネルギー・パワー！ パワ

ーは欲望だ！ 欲望は欲望だ

！ 欲望は現実だ！

現実とは、事実とある！

行動は行動である！ 行動とは、世界に対する答
えである！ 行動における世界とは、変革である！

変革とは変化である！

変化は現実だ！変化は

永続的な願いだ！

永久に、私たちはひとつのエンチャントメントの中にいる。

欲望は抑圧さ

れる！

私たちが望むものすべてがあるわけではない！

手に入らないもの

、存在しないものに対する不満！

非存在 IRREAL！ 思考 NOT

FACTUAL！ 事実ではない NOT attainable！ 達

成不可能 DESPERATION！ 絶望 苦しみ！

存在しないものための苦しみ！ 存在しないものは欲望

を引き寄せる！

48

存在しないものを望んでも、幸せは得られない！

幸福 願いの成就！ 不幸せ 未達成の願いの未達成

行方不明！

達成できない！ うつ病を生み出

す！

現実になっていないことの心理状態。

実現されたものでも、事実でもない！

世界には、存在する事実とは無関係な事実がある！

それは届くものではなく、スピリチュアルなものだ！

スピリチュアルとは、自己を感じる方法だ！ 私たちは皆、スピリットとと

もに生きている！

精神/PREDISPOSITION！

モチベーションは、私たちを駆り立てる何かだ！ 行動への原動力！

aCTO, ACTION!

他者に働きかける！

他のTHEM、THEM私！ 私VS彼ら（

世界）！ 社会的世界！

行動を学ぶこと！ 知識を学ぶこと！ 本当の事実を知ること！ 知

識を武器にすること！ 知識を伝えること！

私と彼ら、そして私たちの間で！

世界を知ることとは、その中にいることだ！

私たちこそが、知の世界なのだ！

私たちは皆、ある程度の知識を持っている！

知識は学習である！

学ぶとは、共に生きることである！ 共に生き

るとは、伝えることである！ 伝えるとは、関

わることである！ 関わるとは、交流すること

ある！

交流することは、世界に働きかけることである！

世界について知ることとは、変容することである！

知識で世界を変える

それは進化である！

進化することは、知識を得ることである！ 知識

を得ることは、どのように変化するかを知ることである！ 知識を世界に変える！

多文化的な知識！ 無限の知識！ 忘れられない無

限性！

賢明であることはユートピア的で
ある！ ユートピアとは達成したいという願望である！

意志！ 意志
は内なる強さである！ 内なる強さ
は自己である！
私は世界を変える！ 世界は彼らによっ
て変えられる。

彼らは世界を変革しているのだ！ 世界を変革する
のは我々なのだ！

REASONを通して！ 理性
JUSTICEを通して！
正義の平等権！
であることだけで権利がある！
私たちは世界に対して高潔でなけれ
ばならない！

50 意識的に、そして現実に基づいて行動する。意識的に、そして現実に基づいて行動
する。

AIS！
イマジネーションだ！
想像力の創造！ 存在しないも
のが創造する！ 想像力の創造力！ 創造する力は自由で
あること！

自由とは知識である！ 知ることは解釈
することだ

解釈することは、仮定することである！ 仮
定することは、約束することである！ 約束
は約束である！ 約束は誓いである！
忠誠心だ！ 忠誠心！

真実は一つだ！ 一つは私

だ！

私たちはひとつの世界です！

我々は彼らであり、我々である。存在。

成長することは存在す

ることであり、存在す

ることは存在することで

ある。

存在することは本当の事実だ。

それは、私たちが存在し、私たちが世界であるという現実であり、生きているもの

と生きていないものの世界なのだ。

○ 世界は私によって、あなたによって、そして彼らによって変えられる。

○ 世界は進化している。進化するとは、より多くの知識

を得ることだ！

Knowledgeable とは、知識を持つことである！

知ることは知ることである！

経験することを知る！

経験することは、感じることだ！ 感

じることは、知ることだ！

私たちが感じるのは、経験したときだけだ！ 経験するのは、したいと

きだけだ！

好きなことを経験する自由！

尊重される権利、義務！ 私たちはそれを望んでいないし、そ

れを知らない！

知らなければ、変わらない！ 知識を得る！

雑多な人々によって！

わからない、実験してみたい

高揚感、自己と自己

の体験から引き出される。

THEM!

他人がする間違っただことがある。

はすでに試している！

そして、それが良くないというのは常識だ！ 常識的な人生の知恵だ！

人生の知恵、共有された経験

、獲得された知識！

相互作用を通じて、相互作用は変容する

SEAだ！

世界は相互作用である！

世界は私たちだ！

世界は私であり、あなたであり、私たちであり、あなたであり、
彼らである！

共有、FRIENDSHIP! 友情、

CUMPLICITY! 価値観の共有！

社会が私たちである！ 私たちの間で、私たちは

行動することができる！

私たち自身が行動することで

彼だ！

それが世界なのだ！

世界の気取りなのだ！

変身 NEW I, WE, ,

YOU!

新しい世界、新しい現実。

2007年12月16日（日）

欲望

キスをちょうだい...あなたが知っているようなキスを！
隠れてキスして、あなたが盗んでいたようなキスをして。
また会おう
欲望が高まったとき...キスをして...柔
らかいキスを...そういうの...知ってるでしょ？
優しくて...甘くて...君の味がする！私
からのキス...

不眠症

眠らないのは、眠りたくないから、生きたいから。これは私を眠らせない障害だ。
不眠症と向き合う

53

24日（月）
2007年12月

影狼の風刺画

シャドウ・ウルフは行方不明だったが、発見された。
保護されているが、それは選択によるものだ。彼はその器用さを化学的な固形物と
h20.
純粋なシャドーは冒険に飛び込む
そして戯画化された上陸を果たした。
ロボのように、彼は保護されたが、彼の態度だけによって。
明らかに孤独に浸っている。

今日、私はロボ・カリクアオと書き、彼の世界と向き合う。

そして私はそれを解釈する。自立した友人であり、人生の真の新参者の野性的だが慈愛に満ちた性質なしには生きられない。私が修行したカリクアオのエンブリオには、忠実で誠実な若者の血が流れている。何よりも大胆不敵な性格で、本質的には獰猛だが、パートナーや友人には忠実で敬意を払う。

だから、忠実な旅の友であり、共犯者であり、常に愛情と沈黙をもって解釈される。

一緒に暮らして長いから、ASシャドのことは知っている。

しかし、私はオオカミの中に勇気を見た。そして、オオカミは無言の親友の絆を築き、自由に関する法令を制定した。オオカミが持っていたもの、それは自由であったが、それは

オンリー、オンリー！そしてフリー！

54 シャドウ・ウルフの人知を超えた光り輝くエネルギー。

存在の仕方。その

吠え声で、ジャングルの独立を主張する。

遺伝子の本質。

私はクリスマス・イブに、オオカミ、いや、漫画のような影のオオカミと、精神的に孤立した状態でタラコを分かち合うことにした。

飲む。私

たちは孤独なのだろうか？

もちろん、自然が私たちをどのように形作っているかについて考えるのは自由だ。
ザ

。ウルフ・カリクアオは今年のクリスマスにプレゼントされたものだが、彼は野生的で、生来の遺伝的環境が彼の染色体を純粋な感覚へと引っ張っている。

その本質は自由である。謎めいた生き方だが、その原動力は

人生への、孤独だが自由な側面を楽しむ。

どんな制限や強制もない。私とソンプラウルフはフ
レンズだが、他者による強制という型破りな方法で行動するのが特徴的だ。私
たちは母なる自然によって自由であり、だからこそ私たちは成長し、私たちに
浸透するものを誘発する。ハバナ・クラブは、同じ革命への渴望と私たちの存
在の主導権を握るという狂気の本質にあり、ここに本能の共同作業による自由
だが孤独な契約がある。

イヌに。

12月25日（火）
2007

ルースター・ゲーム

55

失礼ながら、あなたと私は許されている！あなたは私を、私はあな
たをどう思いますか？

私を読んでくれたこと、おそらく理解してくれたことに感謝している！
コメントの部分に移るが、あなたはすでに私を読んでいるので、控え
めに言っても雄弁なコメントをすでに出している.....。

法定の時期に包装を解かれた贈り物.....すでに
コケコッコーか、コケコッコー・マッチか！

2008 年 3 月 16 日

私たちを隔てる沈黙のわずかな反響でも理解できる、コミュニケーションの恍
惚についての考察。

行為とは、単純な熱意の中にも痛みを伴う言葉である。

拒絶。物理

的には乗り越えられない障害だが、光り輝く存在のホルモンや精神的な
化学反応にとってはそうではない。

を開花させるために、天体が私たちを侵略する。

完璧な愛。なぜなら

、豊かさとは、多面的な存在を理解し、常にこの視点に付け加える何かを持っ
ていることだから。

自尊心を捨て去る思いやりと優しさへの欲求が、またひとつ増えた。

社交界における代表的なあり方だ。唯一無二の自己
という観点から見れば、世の中にどれほど多くの意志が生じようとも、いかな
る意志もいかなる意志とも結びつくことはない。

円である。

この金の輪、誠実と忠実の誓約

そして敬意、特に義務は存在しない。

私たちは純粹で野蛮な行動をとる。

相手の視点に立つ。単純な対立に影響されやすい。

アイデアの、常識が急務なのだ。

私たちが屈服しなければならないとき、あるいは自己と他者との間に介在しな
ければならないとき。ものを拒絶することほど平凡なことはない。

簡単だ。

愛するとは、自己ではなく他者を感じることである。それは、私た
ち存在同士のつながりに対する建設的な態度であり、生きとし生けるものと
の調和に苦しむものである。

他の。本能的な行

動に刷り込まれた私たちは、自己のことしか考えず、次に自己のことを考え、
そしてまた自己のことを考える。

コンフリクトとは、"私"が"私"に変換されることであり、"私"が何人
出てくるかわからないからだ。

相手に譲る。それは
、常に開いている私たちのところに来るようなものだ。自分自身を覆い隠して
いる "I's "に注意を払い、利己主義のどのレベルにいるかに注意を払う。
私という鎧は、いつか、私プラス私という存在であるあなたによって打ち
砕かれるだろう。

鎧にヒビが入る。そして、鏡の前に
立ち、映し出された自分だけが存在するというのはどういうことか。

私たちは孤独だった。私たちは孤独であり
、そして孤独でありたいと望んだとき、いくつかの "私 "の利己的な考えによ
って、その "私 "に逆らっていたのだ。

私の。
孤独とは、多くの人が自分のために愛する言葉だが、私プラスあなたへの愛は
生まれていない。

愛：私とあなた

57

オムニア・ヴィンチット・

アモール 愛はすべてを勝ち取る

21 2008年3月

もし、あなたが知っていて、望んでいたなら
。

この無謀な不安はなぜなのか？

君はあそこからここまで来た
んだ。それがどれほど完璧な
ことなのか、僕にはわからな
いし、気づかない。

来てくださること、連れてきてくださること。

やりたいのにやれないなんて、なんて苦痛な
んだろう。

出会いを願う

それが人生だ。

ここにいてべきだ

私の近く

庭が見えない バラが咲いて散る 白い花び

らが消えていく

あこがれと欲望 ひとりぼっちじ

やない、追い出されない 僕はこ

こにいる

あなたはそこにいる

そして、ここにいて欲しかった

*** **

あなたの美しい茶色の瞳は、海から採れた
オリーブのようだ。その瞳を思い浮かべると、あなたを思い出す。

26 2008年3月

目が覚めた、目が覚めた、暗
闇から出てきた。
情熱と欲望に包まれている自分に
気づいた
私が見たもの、覚えてい
るものすべて
強いキス、ハグ 私が与えたもの、そして
受け取ったものすべて
そして、私は尋ねなかった。
それは存在の再生から生じ
たもので、私はそれを求め
なかった。

無痛

私は見た、私は願った、私は持っていた
彼らが与えてくれたものすべてを思い出した。
彼はもはや主張せず、愛、愛情、思いや
りを与えられた。
決してノーと言わないその言葉
フリーで待機
ものを与える 寄付は存在する
求めず、要求せず、与えることが真実だ
ノーと言われないなら、聞かずに
与えよう

シャベルを探す
万能薬を見つけよう
比類なき宝、ただ金ではない宝
のみ
それは永遠の愛

*** **

私が何を望んでいるか、あなたは正確に知っていた
でも、言わなかった。
深い何か、私が見た何か
しかし、それは翻訳され
なかった。

それは夜明けだった。

私の中で成長した。

そして私はあなたに手紙を書いた。
私の中で何が育っているのか分からなかった。
それは愛で、私が欲しかったものだった。
た。

実際、私はそれが
大好きだった。

夕暮れ時の出来事
恐れることなく、震えることな
く 眠ることを恐れることなく 温か
な孤独感
心臓の下に手を置くように

あなたはそこにいた、窓のそばに、私は
あなたを見なかった、でも私はあなたを
知っていた、私は彼女の香水を感じた
サンダルウッドとジャスミンの香りがした。

しかし、私はそれがそこにあること
に気づき、それを認識した。

昨日もそうだったが、今日は。

面と向かって

等しくなければ、それは特別なもので
、痛くて、僕にとって不可欠なものだ
った。

私はあなたのために息をした、私はあなたを見なかった、私はあなたを感じなかった
そして、それは終わりではなかった

あなたはそこにいて、遠くにいて、
でもそこにいる。

そして私は、あなたがそこにいたのだと思っ
た。

背景の窓から外を眺めながら、あなた
を見ることなく、あなたを見せつける
ことなく、私はあなたを空気に包んだ
。

あなたを海に連れて行った
湿度と喜びを吸い込みながら、海の匂いをあなたに伝え
る。

それが私の見たものだ

海、砂、湿気、空気、そしてそう、あなたの
呼吸

2008年3月28日

私はその思慮深いタバコに火をつけ、その調和を楽しむ。

そして、考える対象は、私を行間をさまよわせ、私の心の中にアイデアが流れる。

目的と相互作用

作家であり読者である

私は、自分が書いたものを最初から最後まで読んだことがない。

不思議なことだが、「なぜ」を読んでいる人がある

のは知っ

ている。

彼らはそれを気に入るだろうか、私が伝えようとしていることを理解してくれるだろうか、それと

も.....。

漠然とした何

か 煙草が消えて、私は一人で考えている。

そうでは

ようか？ わからないが、私は解放の一形態として書いている。

精神的・知的

私のためになる

。

そして

.....僕は違う種類の文章を書くことにしたんだ

。

しかし、愛と理解のために、運命、愛の心

もっと思いやりがあり、良識があり、両手を広
げているものを読みたい人のために。

愛すること、信頼すること 争
うことなく、アンビバレントであることを望まずに。

私の言葉では、もっと直接的
で具体的で、問題の核心に触れたいんだ

読み手と書き手を結びつける感覚

親和性があるからこそ、私は
いつもそうでありたいのだ。

文章を形成するために組み合わせられる文字間

の一致について

常につながりがあり、非常に現実的であることを望む。思慮深い言葉、⁶³
想的なフレーズ。

考えさせたら申し訳ない。

たとえそれが不条理なことであっても

それは存在するものだからだ

。

この特異な方法で、あるいは普

通のフィリペ・モウラを通して、

すべての珍しいもののために気を

引き締める

誰が私を読んだの

か？

私の書いたものを読んで

ください。

しかし、私が自分自身にそれをするとき

と考えさせられる。

さあ、読み進めてくださ

い。

考える。

私は感謝し、喜んでい

る。

思う

感想だ！

*** **

たぶん、あなたはそれを感じていない

石に降る雨のように、舗道の穴に入り込む。

砂と土の下で結ばれている 硬く厳しいつながり

部屋もスペースもない。

これは効果的な関係である 石、土、

砂 私たちはそれらの上を歩く これ

らは関係である

コールド・ストーンの相互作用 砂や土の

有無にかかわらず

しかし、石工の手によって組み合わせられ、完成した。

愛はすべての地球を、石畳の石のようにひとつにする

。

複数の石をつなぐ

そして、それは石の心を縛るのではなく、型

にはめやすい感情を縛るのだ。

私たちは、どんな重さにも耐え、時間の
消耗にも耐える、一組の部品であるべき
なのだ。

歩いている舗道を壊す勇氣 それが人間だ
しかし、団結していれば影響は
少ない。

愛で別のピースをつなぐ 愛は砂となり、大地となり
、私たちを結びつける 弱点はなく、ただ磨耗と破損
があるだけだ

すべての部品が揃っていれば最小
よく舗装されている

人間は自分自身を完成させる

石を投げて仲間に加われ

共に力強く、世界を巡る長く確かな道筋を形成する

それはレゴのように私たちを結びつける何か

であり、壊れない要塞である。

もしすべての石が磨耗や損傷を受けるなら

元に戻すには砂しかない

石には寿命がある 石には寿命がある 石には寿命がある 石には寿命があ
る 石には寿命がある

小さな石、大きな石、いろいろな石がある。

これが地上の人間だ

適切な場所に収まるまで型にはまる

すべてのピースが組み合わさったパズルのよ

うに視覚化する

誰にでも居場所がある

ジグソーパズルはピースなしでは成り立たない。

歪んだイメージ

私たちは皆、世界で必要とされている

地球はすべての男女を必要としている 誰も無ではなく、すべてのものに形がある

他者とのつながり方、あり方 地球上の巨大なパズルがここに

ある

私たちは知らず知らずのうちに互いにつながっている。

しかし、私たちは皆、パズルの一部を担っている ある者はまっすぐで

、ある者は曲がっている、

しかし、すべてがうまくいくのは当然のことだ。

この舗装は、同じ目的のために協力し合う存在同士の調

和である。

2008年3月29日

他人が自分を見せなければ、どうやって自

分自身を定義することができるのだろう。

感じることは存在すること

存在とは分かち合うもの

生きていくのが辛

いなら、分かち合うのも辛い。でも、

なぜ何もかも問題なく解決できないの

？

そして私たちは空想する。

好きな人ができたら、そのままの顔を見せ

なきゃいけないしね。外れたら

ごめん。

私の近況

しかし、私はあなたに私がどうあるべきか

67

を示す

私の顔を見せるの。私

の顔は売られることはない。

人を買うことはおろか、売ることもできない

しかし、ひとつだけ確かなこと

は、私はユー口に反対で、顔を支持しているとい

うことだ

王冠はすべてを買うと言われるけど、僕は王じゃないし、王

冠もいらない。

苦しみとともに なぜな

ら、苦しめないなら

そんなものは

存在しないし、苦しまなければ売ら

れたも同然だ

彼は買収された 金
があるから幸せなんだ
私は見たこ
とがない。
そして、自分たちが何であるかを
理解するには、かなりの神経を使う
僕たちはダメなんだから 誰も十分
じゃないんだ ある日、王冠が顔に取っ
て代わったんだから
王冠は顔なしにはありえない。

*** **

同じ痛み 同じ熱情 そ
れが愛だった
情熱
それは私たちの想像力であり、想
像から現実への転置である。
情熱に、愛に、熱情に、そして痛み
さえ。
あなたのこの素晴らしさのために、
私は存在し、私は俳優である。
私たちの世界では
あなたはサイレント映画の女優だ。
ホイール

私たちの熱情を見よ」と歌う口

マンチックな映画から!

痛みなき愛

*** **

そうかもしれない

私は

あなた

はあなた、私たちは私た

ち。

同じ視点

同コース

同じ未来

私たちのコーナー 同

じ空間

すべてがフィ

ットする すべ

てがすべてを

奪う

私がデザインしているのは

理想を描く 最

終的に働く 同じ呼吸とため息

あなたはいつもため息をつい

ていた。

あなたが苦し

んでいるのを見る

のは辛かった

痛みはなかった。

傷 それ
は人生だった

そうかもしれない。

想像力はあてにならない。

離れていても一緒にいる。

私はコミュニケーションを取り、あなたはそれに応える。

わからないものだ

もし私が

でも、私はあちこちにいる。

まだわからない。

しかし、私は「国境なき善」のすべてを想像することができる。

垣根はない。

私たち2人はいつもここにいる 一緒にいても、離れていても、私たちはつながっている あなたが必要な

私のあなたも

あなたは行動し、私は反

応する あなたは笑い、私

は微笑む

あなたが話し、私が承認する

あなたは見る

.....私は見る

気づいてくれて、私もそう思う。

キスのために旅に出よ

う

コーロ・ブー

私はいつもつまづく

でも、転んだり傷

ついたりしない。

71

約束する

君と出会って、僕はす

べてを知った。

なぜなら、私はすでに未来がどう

なるかを想像していたからだ

。

私が書いたものを読んだからだ

そして僕が感じたのは

.....君が近くにいてほしい

つも僕の近くに 暴動に打ち

勝とう でも戦いはない 誤字

脱字ごめんなさい 誰のせい

でもない

著者名

見なくてもイーブンを見たい
から
想像は
している
それが現実だ
征服
帝国 それは
想像ではなく、欺くことなく
垣間見たものだった

02 2008年4月

72

ヌルまたはゼロ
見よ、誰もゲームから離れない。
一時的に満たされた気分
野心
があるから幸せ
それは征服すること、そしてさらに征服することだ
達成できたから幸せだ。達成できたか
ら不満だ。
しかし、そのとき私は別の願いを思いついた。
つの願いではない

でも、むしろ願いのアレムんだ。

それ以外の気分はない
物

*** **

美しさの裏には個性がある

個人的で達成可能な理想主義を常に追い求
める力。

私たちは理想を守っている

行動と社会

個性、愛する人

行動する姿勢と実現する姿勢の違い

アイデア、思想、在り方によると

従って、「探し求める」、あるいは「到
達する」。

この自然の力を誇りに思う

そうすることで、私たちはユニークで創造的な存在になれ
る。

理性そのものから

誰もが特別な存在になりたいと願うもの

73

06 2008年4月

ああ、信じちゃだめだ。

いつか君は倒れる。

しかし、同時に

私たちはあなたを愛しています

そ

して我々は

戦う

信念を持

って立つ

行きたくなくても落ちる

パラシュー

トなしでの落下

罪の意識に打ちひしがれる

言い訳はしない

申し訳ない！

*** あなたの

緑、あなたの茶色

あなたの魅力

プリンセス

魂は燃えている

私はあなたが欲しい。

陽気なマリーゴールド あなたの

色

私の痛みを癒してくれる

あなたの輝き
それが私の魅力だ
あなたの美しい、美しい髪がそこに当たる
心の根源をつなぐ
孤独を殺すために、私はこの情熱に感謝
して歓迎する。
その手
その感触、その微笑みが、私を楽園
へと誘う。

07 2008年4月

75

私はあ
なたを見た
。
もう一度見て、また
気づいた。
気に入っ
た。
それは愛のジェスチャーだった

2008.04.09

君はだった そして僕にイエ
スと言った
どうだったかと聞いたら、泣きそう
になっていた。
私は悲しくなった。
そんな風にならないで
。
私はあなたと同じ

76

*** **

もしあなたが道に迷ったら、私を出
発点だと思ってください。
人生は地図であり、あな
たは私を見つけたのだ。
そして、私は歓迎すると言った。
そして何もない
あなたは
すでに私を頼りにし
ている
あなたの隠れ場所で 小さ
なキスをして すべてが美
しい

2008年4月14日

創造せずに想
像する 読まず
に書く 聴く
聞き流す 勉強する
暗記する ここにモ
ットーがある
シー・アンド・フィール
をテーマにしている
そして自分を解放する
文字の中 言葉の中
文章の中 詩の中 私
にとってすべてが
テーマだ

77

*** **

今日、私は今を感じている
モダナイズされた
過去はない 覚えていても忘
れてしまう。
現時点では

理解を感じる
本当のところ
、私は自分の年齢
を感じている
あなたの顔
を見て、あなたの目を
見て、あなたを見る。
皮肉かデマゴギーか.....私は自然
体だ
私は事実だ
時間厳守
電
流

*** **

今日はこんな日だっ
た 忘れて、こんな
風にしよう どうだ
ろう？
もし前の瞬間がなかった
ら、それは内側から来る
ものだ。
その瞬間は過ぎ去った。
私は現在を見ることし
かできない
瞬間と向き合う

インスタント

昔の出来事ではなく、今

の出来事

*** **

ほとんど

浮上した その言葉

行為の、一

つの事実の、一つの

意志の

遺言の

やっとの喜び

何も書いていない

しかし、それはその日の

ビジョンと一致していた

そして

エネルギー

ーを書く喜び

生きる男の

日常生活

79

*** **

フロート

そして、それはほとんど消えていく

透明で穏やかな水

優しい頬を伝う涙

顔に伝う涙 A girl A

lady A woman Who
sometimes gets lost.

そして、あなたは自分

が何を望んでいるのか

しかし、それはとても甘美であることを切望している

チェリーのように

80

*** **

それは文字で

あり、言葉である

時に愚かで、時に明晰で、

内面から湧き出る輝き

を放つ。

どうなんだろう

大騒動

しかし、私は傷のチクチク

を感じる

一方通行

自己の内面への旅から
転機となる通過点
あなたの世界で、私は
深いまなざしでそれを見る。

*** **

君が何を感じているか
知っている 君が何を恐
れているかも知ってい
る 君が何を望んでいる
かも知っている
あの日の午後、あの日の夜。
孤独の中に情熱があり
、欲望がある。
あなたは恐れてい
る あなたは望んで
いる
そして、あなたの幸せそう
な、熱心な笑顔を思い浮か
べる。
勇敢な人を待っている

81

*** **

奪 い、
盗み、侵略
する
しかし、彼らはそうしない

著者名

あなた
のものである
私
私たちの夢 私たちの
出会い
川の土手で
私は微笑む
君は石と遊ぶ
動く水の下
石は硬いが、君と水
は
彼らは最も偉
大な純粋なオーナーであ
る
狂気

*** **

座ってみると、私はこう
思う。
私は行間を書く 想像の中で
水槽の中の魚の
ように、泳いで
も泳いでも、呼
吸と酸素補給に
飽きることはな
い。
を探している

いつか泳ぐ自由

水槽が、夢を見ることができる。

*** **

やあ

、君がそこにいるのが見えた
よ。調子はどうかと聞いたん
だ。

そして、私は最も
私はあなたの
少ない苦難を見る
見過ぎ

少なすぎることはない

私はあなた
を心配させるものを見てき
たし、感じてきた。

ポジティブでクリ
エイティブな心

しかし、決して否定的ではなかつ
た
建設的だった

83

*** **

飲むと信仰を失う

誰かに掴まれる

私を守る爪を感じる
私を忘れない人
あなたはそこに
いますか？
みんなと同じように、ハッ
ピーで幸せでいてほしい。
進化し続ける人々に、だか
ら情熱がある。

*** **

前を見たら、そこに君
がいた。
マジックがす
べてだった
それはあなただっ
た、ただあなただった、ただ
あなたと私だった。
それは私たちを
倒し、団結
させた
濡れて、恋をして
私たちは皆、歓喜に
包まれた。

この魔法の雫は、あらゆるもののために

伝わったもの

それは喜びだった

*** **

書くたびに感じる

こと

見ていて思い出すことが

ある

そして、私はいつもあなたを見る

前進

将来と

今、私は永遠にあなた

が欲しい

へそとへそ、唇と唇、ボディ

とボディ、ユナイテッド。

いつも友達以上

85

それは私が見たものだ。

私が望んだこと

だとは言っていない。

そして強い

何かを感じた。

君を僕の中に入れるよ

イマジネーショ

ン

サムシング・

ビューティフル イン・シェー

ド・オブ・イエロー

太陽のように

それは決して消えない

そして放射する

エネルギー

終日

15 2008年4月

電気を消すと暗くなる

すべてが暗い

私がこの次元に入ったのには理

由がある。

やる気がない 想像力がな

い

無から 空虚か
ら
見えないもの すべては暗
闇に映し出される
壁が想像される 障害物が倒される 触
手よりも悪い ショーが始まる 照明が
点く 幕が上がる その時まで
夢を見ている

*** **

感想

でも、あなたは
同じものは何
もない
心の考え方は人によ
って違う
私もそう思う
さて常
にユニークに考え、
行動する
たった一人の
存在

闇を見るとき、私は乗客だ 光の

愛ではない

全身が満たされているとき、私は
自分の身体の各部分が眠っている
のを感じる。

音によって壊される感情 音によって
リラクゼーションが私に語ること 耳
で強調され、吸収される

私は再び現れる

眠らせるな

でも、忘れた方がいい

のかもしれない

緊張を和らげるものなら何でも

脈拍が止まっている。

もう過去のことなのかもしれない。

反応するのでは

なく、行動する

いい機会だ。

苦しみを締めくくる

2008年4月18日

目が覚め
たのは夢だ
と思った
夢であなたを見た
あなたが一番
チャーム
より美しく
プリンセス・エア あ
なたが私のインスピレーションだ
った。
私は騎士だった あ
なたの戦士だった
あなたのためなら、私はどんなことでもす
る。

89

*** **

あなたは眠かった あなた
は口を開いた あなたは眠
ってしまった 私はあなた
のことを考えた
そこ

あなたのそば
に寄り添って
私はキスを求めた
私はあなたと一緒にいたかった。
私は自分自身を発見した。
あなたを夢見て

*** **

アズセナの穏やかな
花びらよ。
あなたの香水が私を誘惑する
私を導いて
あなたに会うために
めまいがする
屋根の上にいる
星を眺めながら、
僕は君に寄りかかった
。

*** **

あなたは私を微笑ませ
る あなたは私を感じ
させる
自分を解放するのはとてもいい
ことだ
さらに
誰もいない

あなたはとても優しい
千のうちの一つ、いや、無限のう
ちの一つ。
あなたへの想い
でも、感じることは不可能だ。
あなたへ
あなたの魔法のために あ
なたの喜びのために

2008年4月19日

91

あなたはかわい
い あなたは赤ち
ゃん
もう立ち上がっている君は
とても優しい。
君は最高だ 君は
最高だ
あなたは私が望んでいた
すべてだ。
君はとても愛情深い 君はと
ても微笑ましい 君はとても
楽しい 君は最高の喜びだ

あなたは私の息子 あ
なたは私の世界

*** **

ノーティ・ノ

ーティ

ジェームス君だ。

君は僕の子供だ キュ

ートでクールな僕の

子供だ

一日中、あなたの笑顔、あなたの

喜びが溢れすぎている。

それらはエネルギーである

⁹²純粋なもので魅了する

壁を飛び越え、フェンス

を飛び越え、私に近づく

。

プリンをちょうだい

あなたはとても優

しい。

いつも笑顔で、準備万端。

道ばたで、庭で、君は

男の子だ。

君が好きだ
そして、あなたは私を愛して
いる.....知っていてほしい.....
いつも私の近くにいてほしい
のだ。

21 2008年4月

雲の下を旅して、空の下を飛
んで、火星や木星の惑星に行っ
たこともある。
火星で君を愛することに決めた
そして木星
あなたが欲しかった 93
ペンを持って飛ん
でいる私のビーイング
惑星から惑星へ

*** **

力があつた エネルギ
ーがあつた 喜びがあ
つた
それは愛だつた
花の形をしたそれは、太陽の力
強さを持っていた。
それはひまわりのように動き、絶え
間ない探求の中で、自らの意志を持
っていた。

それは夢だった
達成だった 目標だった す
べてに情熱があった 次元
がなかった 壮大だった
素晴らしかったよ
とにかく、とても素晴らしい

*** **

窓の外を見ると、地平
線が見えた。

私は丘の向こうを見た
私はまっすぐ前を見た
私はあなたの星を見た
スパークリングは
素晴らしかった。

私は月を
見た それは私のもので
あり、あなたのものだ
った それは風景だった
それは旅だった あなた
が旅をしているのを見た

陸上と海中
私はあなたの後を追った
我々は旅し、
征服した
陸も海も月明かりだけだった

23 2008年4月

憧れは欲望

で、欲望は

愛であり、

思考は感情

である。

ここにいてほしい

あなたに会うことを切望し、

あなたを愛している。

それはいつもあなたのことを考えている

あなたの存在を感じている

それはあなたなし

でいることであり

、考えることだ

そして、あな

たを求め、あ

なたを感じ、

あなたを愛す

る

あなたを見るこ

となく、あなた

を待ち望みなが

ら

五感：

そこにいなくてもあなたが見える視覚、あな

たの匂いを嗅がなくてもあなたが見える嗅覚

、

自分の声を聞く、

私を喜ばせ、触れずに私を喜ばせる。 図

...ノスタルジーを思い出し、感じるのにこれ以上のものはない。

*** **

何かを作りたい、でも漠

然としすぎている。

イメージ

ション 創造と変革

誰かに読ん

でもらうために書く。

しかし、インスピレーションが不足している

私は身を引かなければならない

この状況に立ち向かうために

書くこと、読むことが

あることから、私は考え

始める。

諦めるつもりだ

。

達成

2008年4月30日

ある日、冒険や不運を語ること
があったなら

たった1日 1年も経っ
ていない
1年後の今日、私は50日を見
ることができる。
ここに、1年365日、50日分の瞬間
の断片がある。
そして、60分の24時間レースのために数
分。
とにかくだ、
今を生きる！

97

2008年6月19日

私は抽象的になっていた

。

私は夢中でやってきた。

ちょっと不思議だったけど、夢じ

ゃなかったんだ。

サイコロを投げる準備

まっすぐ進んでいた

。

うまくいった。

そして何よりも
、それは何かだっ
た

私はそれを
創り出し、それとともに生きていかな
ければならなかった。

それが私だ
それは生きているし
である。

*** **

知っ？ 世の中には
モノを変える
それは何か
そして、アレがアレの原因だ
った。
彼が変身して、本当にそのものになったとき
なくなった
要するに、人生における物事だ！

*** **

飛ぶのはミス
ト・アンダー
それは
ただ呼吸するための
空気だった。

恐れるこ
となく勝利 海辺の
月明かりだった
私は船長であり、航海
のすべてを手に行っていた。

26 June 2008

99

もしこんなことが起きたら
誰かが言うだろう、私はドアを閉め、窓を開
け、楽園の下を大胆不敵に飛び回る。
無意識のうちに、私は自分自身を永続させる
。
ルーズな音符がある。
ユリもあれば、マリーゴールドもある。
天井には湿った土、薄暗く無力なラン
プ。
理性のフィラメントにしがみつく テンションを
上げる

困難な時もある 困難な時もある

しかし、誰も

しかし、誰が何を理解しているのか、誰

も知らなかった

そして私は気づいた。

群衆の中で一人になる方法 これがキャッ

チだ

存在せずに生きる

そして何よりも、生きたいということだ。

*** **

その瞬間に微笑み、後悔に涙
し、理解できないことを書いた。

すべてを見て、何も見なか
った。なぜ泣いたのか。

そして、私はあなたのも
とを去らなかった
。

鋭い痛みを照らし出す香水がここにあった。

情熱からノー

と言う時が来た

何かが存在し、何かが

動いた

それは私の血管を流れていた

ポンプのない心臓の、時に遠い血液
どのように情熱が強く、力
強く鼓動するのか。
貧乏人の魂にも
何よりも、彼らは人間だった
彼は何かを恐れてい
る。

*** **

とにかく
いつだって終わりがあって
、始まりがある。
それは私たち二人のため。
そして、我々はまた、何かを終わら
せることを拒絶する
生まれたものが花開き
、成長する
かつて存在したもの
そして、一瞬にして消えて.....そういうこと
なんだ。
一日一日を生き、また一瞬を生きる。

あまり重要でない瞬間だった。
災難に見舞われた時だった。
信じて生まれ変わるだけで十分
なこともある

*** **

若くして、それが真実だ
と想像もしなかった

。

それは演技の中で証明されている。

たった一つの行動

心を征服するために 想像力の果実

何もなく、誰も

いないつながり

ノーと言うこと 起

こったことは私が恐れてい

たこと 震えたことはすべて

無駄ではなかった

まるでモップで手を拭いているよ

うだった。

ノーと思

うときでも、イエスと言わなければなら

ない。

これは正しいことではない

。

そして、それはいつもそう

なんだ。

イエスがノーに変わった

これが誠意だ 自由のた

めに戦う

正直に行動する ノーはノーであ

り、イエスはイエスである

なぜだ

*** **

私は存在し、そして存在し

ないただ、そうありたいか

ら 存在しているから生きて

いる

そして、私はちょうど拡大しようとしていたと

きだった。

そして眠るために書く 歩きなが

ら走った 立ち止まりながら歩い

た 思考の果実は自由で賢い

彼は動きに気を配り、歩き回った。

好きだったから

たとえこの世にいらなくても、私は私だ

愛すること

*** **

私は迷信を信じていない。私は人間とその
の発明を信じている

質問 思い込

み 想像

錯覚イオン

でも陽子でも ロケットも作れる

光はエネルギーの中にあり、

見ることはできなかった

。

彼は行って成功した

。

意味があ

った

第六感ではない

でも、それはとても現実的で

、いつも起こっていた

誰が望んだのか

2008年6月28日

一瞬でも生きていれば

その瞬間、雄弁であろうと、熱狂的であろうと、誰も

そんなことは言わない。

愛は痛みを伴うものだった 痛

みのない愛を想像してごらん それ

が何のためであれ

それは輝きとともに熱情を奪う 想像以

上に長い息 真実は愛の中にある

そして、たとえ苦しんでも、与

えること。たとえ見えなくても、そして何より

も、愛の痛みを感じ、与えること。

見えていないけれど、何よりも私はそうしたい。

痛みから愛を守る 関係をつくる保護

感情から来るもの 理性の

ない愛

そして痛みは心から来る

105

*** あなたの目

に海が見える

見ただけで愛おしくなる 砂浜で睫毛を揺らし

波に涙を転がす 貝殻のビーチが見える 星につま

ずく

叫び、一粒 これが私の心の

糧

2008年7月1日

もし私が
苦しんだとしたら、それ
は私が見なかったからだ
。

あるいは、理解できなかった
私が経験したこと

*** **

笑顔 ひまわり 喜び
そして美しくする
太陽の光があなたを自由にす
る
あなたの美しさを見せてください

*** **

息苦しさ 狂気
誰もが小さな恐れを抱いている。
どうしてこうな
ったのかわからなかった。
長い間、私はどうやってつぶやき
に向き合えばいいのだろう。
今は笑わない。
ある男

一瞬揺らいだ
あなたがそう見えたから
誰も気づかなか
った。

*** **

自分が経験した苦しんだ
そして私は苦しんだ
どう感じたか
夜は凍えていた
私は道を戻ってきた すべてを持って
、そして何も持たずに 誰の中にも一
人
私はそれを超えることはで
きなかった。

*** **

もしあなたの目に確信
があれば、私は明晰に行
動し、器用にこなせるだ
ろう。
悲しみから 行
動しない今、あなたは間違っている
だから私は天井を見上げた
そして、すべてがさびれたように見えた

*** **

なんという痛み
なんという光景
悲しみと不安 輝く私を
見て
私が倒れるとき ただ倒れるから
そして私は謙虚になった
すべての人間の中で

*** **

沈黙 不穏な沈
黙の声
と言わない人か
ら
幸せになる

*** **

ある日、目が覚めたとき
、私は自分を見失って
いた。
私が感じたものは喜びではな
かった
一日で、明日はもっと良くなる
。

*** **

それが存在するだけで
、人は悲しくなる

02 2008年7月

孤独の暗闇の中で
、手を差し伸べる。
あなたの心に触れることは
無駄ではないのだから。

109

*** **

一人でいることが十分でないな
ら

03 2008年7月

これらの石の上
座って君に手
紙を書く
忘れられないこと
あなたの笑顔

あなたの会社は、私がい
つも感じていたものだった。

一人でいた頃 時折

あなたのことを思
い出ただけで、気分が良くなった
。

04 2008年7月

目が覚めて自分を見るたびに
、本当にこんな感じなのかな
と思う。

私は想像した。

あるいは、もし私が旅をしていたら

夢は何もつくらず、何も変えない

それは間違った認識だ。だから私は

めったに夢を見ない。

そして、すべては同じ、変化な

し、結局は夢を見るか見ないか

。

06 2008年7月

悲しく人間嫌いの夜の雰囲気の中で

静かで無口 非常に無口
しかし、星がある
月明かりを照らす
過酷な環境下で
も明るく照らす
そして残
酷 希望がある 信頼できる人が
いる
私たちを動かし、引き上げてく
れる存在。
友人、仲間
本当に通りだ。

111

*** **

私たちを無関心に見る人 信念
のない人
彼は愛で私たちを見るのでは
なく、私たちに苦痛を与える
。
どういうわけか、あなたは "
友人 "であることを信じてい
ない。
おへそだけは、彼もいつか違い
を感じるだろう。
友人の友人であり、愛の信念を感じてい
る人。

苦しいときでも

*** **

人間はいつかどう
なるのか、それは誰にもわか
らない。
もしそう言ったとしても、彼らは知らなかったのだ。
人間は常に何かをも
のだ。
生まれた瞬間から、生きること、成長すること、そし
て最後には死ぬこと。
その理由もわからなかった
これ
が人間であり、その存在である

13 2008年7月

あなたの目にある輝きが見
えた。
強烈で、Oを愛する原因があった。
もう一度見ると、まだ輝いていた。

彼の視線は私を征服し、星のように輝いてい
た。
情熱の感覚。

*** **

私が進みたい道が見
えた、同じ道を一緒に進んでほ
しい。

この羊皮紙には、君が僕の肩に寄り添って
くれるって書いてあるんだ。いつもいつも、一緒に
いたい誰かがいて、僕らが征服するあの場所を待ち
望んでいる。
いつも輝いている

113

14 2008年7月

理解できない 理解でき
ない
それとも、ただわから
ないだけなのか.....。

それを知るには
そうすれば、私は反論できるし、はっきりす
るだろう
何が起ったのか
何が起ったのか、その先が知りたかった。

*** **

どんなことがあっても
どんな結末が待っていようとも
、君を忘れない。
どんな状況でも私たちの愛
情熱だけではない。

*** **

私は暗闇の中を見た
ラジオから流れる音楽を聴きながら、自
分を解き放った。
夜は仲間 感覚を分かち合おう
秘密を守るため、より繊細に
沈黙の夜と呼びたい

彼はいつも耳が良いが、いつも策略的である
にもかかわらず、口数は少ない。
そしてそれは私を幸せにする

26 July 2008

全世界の囚人として生きる方法
解放の息吹 不安を和らげる 閉塞感 緊張
を高める 他人に見られることなく 神
経が瞬きする
見よ、解き放たれた結び目、解き放たれた
結び目。
もっと平凡で官能的なものへ

115

27 July 2008

どのように機能するのか想像
すらできなかった。

私の存在
普通存在 感覚
そして、ご覧あれ
私が書く
私の心をよぎったすべてのこ
と
楽しかった
あなたにも読んでほしい

29 July 2008

116

このポジション
シングル
目的地もなく、方向
感覚を失い、忘却の彼方へ
、完全な喪失へと突き進む
。
呼吸の感覚から、信じた
いという願望まで これは
誰もが人生で直面すること
だ

*** **

ため息
タバコの煙

拡大

息をひそめて時計を見る

刻々と時間が過ぎていく

タバコはゆっくり燃える

今この瞬間から、私が常に探し求めているもののた
めに

もうひと息、ひと言 時間が経つ前に、こ
の中毒がなくなるといいのだが。

2008年9月15日

ある日、それは起こった。その果実は
努力...忍耐...前向きな姿勢。それは

いいこと

117

.....いや、例外的でさえある.....独創的である。
より良く、より多くを望み、そうであることから。

よりも!

...勝利と圧倒...ついに征服者タ
夜明け...静かな夜に。　すべてをこの手に。

...キャッチボールなし...すべてはイリュージョンのために...以下略
幸せになるために、あるいはとても幸せになるために。なぜなら

そ う し

たかったんだ...そして、結局は物事に対する気持ちの持ちようなんだから...今日
という日は...どの月でも...どの年でも...どの世紀でも... 私は幸せになる素質があ
る。A

そしてエス。
tar onde não estive...さて...生きるために生まれ変わる...平凡を何かに変える...微
妙に普通じゃない...。

それはすでに無意識の中に存在している...私たちに嘘をつかない何か...確
信を持って進んでいる...自覚している
常に信念を持って生きる。
本当の征服.....
私たちが悪の奴隷であろうと、美德の奴隷であろうと...
回り込もう...そして去ろう...ジャンプして...走っ
て...飛んで...想像力の赴くままに...心臓の鼓動を早めて...一気にぶつかる...
自分を裁かない人間の最高の自由
彼らの行動によって...在
ることは自由に生きること

2008年9月26日

118

ある日、私はスピードを出しすぎた...私は転倒し、取り残された...それから私は再出発した...転倒の...回復の自信を胸に...私は主張し、他にチャンスがないかのように生きた...私はゆっくりとした一步を踏み出した...
そのレースは人生と呼ばれている...そのために私は戦った...
そしてゴールにたどり着いた.....元気になるために幸せになるという.....最後の一步で.....私は一人で戦っていることに気づいた.....自由が必要なんだ
...そしてこれが孤独の妹...そう、私はいつも最初と最後からしか出発していない...最初しかありえない...。
そして最後に一人で走るとき...それは闘志だった...でも決して一人じゃない...自分の人生が待っている...それが走ることだ...。
最後でありながら、最初に生きるために...。

我々はサイクルを始めている...最後にスタートするのは当然だ...しかし、ポイントがある...それが人生だ...ある場所では一番になり...別の場所では最後になる...だが決して立ち止まることはない...そうすればランナーはいない...人生というレースでは...私たちは常に勝ち、同時に負けている...それが人生における戦いであり、勝利なのだ!

04 2008年10月

私は瞑想し、等化し、そしてついに.....落ち着きのなさに対して行動を起こした.....。

男 が

119

不幸になるとき.....ひとりで生きられないとき.....じっとしていられないとき.....。

幸福...これは内面から来るものだ...何かを焦って探しているからだ...外から...そう、この落ち着きのなさ...

孤独に耐え、じっと耐えることで、私たちはより強くなる。

何も求めない者は幸せだ...なぜなら自分自身を見つけたからだ...これを自閉症的な生き方だとは思わないでほしい...しかし、それは

最大の幸福は私たちの内側に。

2008年10月30日

6TAR そこで...

6頼まれもしないのに、そこにいる。6あな
たがする必要がないときに、そこにいる。6
あなたが望むときにそこにいる
6私がいなくても、そこにいる...6あなたが
私を感じないとき、そこにいる...6あなたが
私を呼ぶとき、そこにいる...
6あなたが私を思うとき、そこにいること...6来るも
の拒まず去るもの追わず...
6想像したときにそこにいること...6嫌でも
そこにいること。6ただそこにいるために...
6あなたが私を愛するとき、そこにいるこ
と...6あなたがそこに存在するから...
6あなたが私を夢見るからそこにいる...ここに
いながら、そこにいる。
6いつもそこにいるために...
いつもそこにいるために...

120

14 2008年11月

ある日、もし私があなたに会って、あなたを見
ていたら、なんて面白い子なんだろうと言う
だろう。あなたの目は、笑顔は陽気でキラキ
ラしていた。
あなたは、それを望む人のための女性だった
美しく官能的

私を誘惑した

のはあなただった。

魔法は好きですか？ それ
は私の日常だった。

08 2008年12月

ある日、私は想像した。

だからといって、何を言いたいかわからない。

そして、It was differentと書いた

。

あの夢は本当に怖かった

存在することと、何が起こ

るのかわからないこと。

決して見ることのできないもの

静寂に包まれた世界への旅は、ここで終わりを告げた。

そして、その誰かが苦しんだ。

勇気がなくて、他の人がやらないこ

と

彼らは行動しないが、誰かの幸福を無視する方法を知

っている

見ることを知らない人たち

あなたが持っているもの

そして、100人に1人もいないと....。

2008年12月10日

タバコを止めて考える！タバコの火
を消して、再起のための戦いが始まる。

願望だ。

私は抜い清め、創造するために書く。分後、書く
こと、そして持つことの真理が明らかになった。

なにかべつ

あなた以外に

122

自分にはだと思ふ反面、戦争を感じる.....。

最も真実なこと

、征服することについて。

タバコに火をつけてから16分。

それを再燃さ

せたいという願

望がある。

何事も感じれば過ぎ去る。だから待たされるんだと思うよ

弱さから勝利への欲望まで、すべてがうまくいく

夕暮れのように。私は欲望

と常に接触している。

最後の1時間後の30分を思い浮かべると、自分自身と

時間をつぶした

い気分なんだ。

数秒で移動し、数分でロケットのようになる

すべての前進

を祝う。

進退を考えると、頭がくらくらする。

手が届くところに。タバコがあるから一步後退。35分、ここでキャンセルしたい演技がある。

何も考えず、機械的かつ手続的に行われた。

スアル

。を絶滅させる過程で、私はこのアクセス権を得た。

という状況だ。

私はその瞬間、創造の自発性に自分を戻した。

アク

ション行動と結びつきのある言葉、フレーズ。

ラジオで計画が中止されるかもしれないと聞いて、私はそれを考え、罪を犯した。

方向性が見えて

くる。

あと45分したら、またタバコだ！すべてが、しかしほとんどすべてが

、私に考えさせる。

それに向き合おう。

この1時間で、20年分の結果が出る。

所有する。

私たちは人生の66パーセントを、100パーセントのことを考えながら生きて

いる。

33パーセントが与えてくれる。

複雑な説明だった。本当にやりたいことがあるな

ら、戦い、勉強しなければならない。

は行動することを意味する。

簡単なことではないんだ。

タバコ。時

ちょうどにやってきた。

プロジェクトに参加している。

もちろん、私はこの状況を煙に巻くつもりだ。私の

本質は純粋さを含まなければならなかった。

2時間03分後、タバコを吸ってから考えた。

分かっている。

何かが起こる。何かが、私は微笑み始めた。一番簡単なのはあきらめることだった。

私は強くなり、勝つことしか考えなくなった。不自然な何かが異常だった。

反省しながら、寝たふりをするのが一番だ。衝動が来ても逃げない。

光がなくても、エネルギーが尽きることはない。決して影を落とすことのない稲妻の力を感じる。私は変わる、すべてを変えることをためらわない。

マー

私は行くし、なぜ行くのかもわかってる。穏やかで平凡なタバコは、苛立たしさよりもどこかためらいを感じさせる。

2008 年 12 月 17 日

いつかカモメが来たら...。

あなたを連れ戻すために...欲しくな

いものを手に入れた...何も望まなか

った時...すべてを失った...

君がいなかったら、僕はどうなって

いただろう...。私は描写を包み込ん

だ...この情熱に...

私にはいつも疾走する巨大な愛があった...あなたを想うとき、私は

失ったものを見た...

私はここに、あなたはあそこに...」。

あんななれたらどんなにいいだろう...。

あなたの心は...

この巨大な愛、常に勝利...あらゆる場所で私は欲望を感じた

...私の世界から深く...

いつも君が欲しかった、君が笑ったときはもっと...。その幸せ

そんな表情は...

すべての電気を通し、すべての...私たちを結びつけ、決して引き離すこ

とのない鎖...

*** **

決して偶然の衝突を意図したわけではないのだが...。川に架かる

橋の想像してみると...。

もはや何の意味もない...その姿を見

て、走って隠れた...。

蜜のように甘い言葉を紙に書いてあった。

歌詞はくだらなかった...。意味があり、

過去に埋もれていた...風が考えて吹いたもの...

ひどく愛された絵の中に筆で描かれたあの顔。

の...あ

あなたは芸術の一部だった...あなたはキャンバスに描かれ、

あなたは...

あなたは "彼女" だった...。

125

03 2009年2月

カルト

著者名

図

私は走ったが、彼は私をつかんで引き離し
、行った。

見えないのに広がる呪われた姿。という体験の得体の知れないヴァルトで
ある。

おとぎ話のような幻影。
その人物はこうつぶやいた。

顔がないはい
」私は少し恐る恐る答えた。

恐れることはない、私は光の前にしか存在しないのだから。光とエネルギー
については以前にも話したことがあるが、そのような人間については初めて
だ。

知らない顔と
官能的に現れ、追いつくことなく走り去る。

その体躯に。その姿
は光なしでは生きられない闇の存在だ。奇妙なのは、暗闇に隠れる影であり

静寂の中で
しかし、あなたは光の中から姿を現し、その帽子をかぶっている。

顔、黒い。私は
天に昇る。

あなたの視線と光
メタモルフィック

空の隣で、私は他の誰でもない、スルタンのように笑う。

そしてフラストレーション
私は黒い空と密集地帯のスピードで応える。

透明で鋭い雨を最後の
一滴まで食べ尽くす。しかし、男にとって

ノー・ウォーター・フェイス
私の身体とマッキントッシュを通して。

その姿は浸らない。影で
できているからだ。

これらの想像上の人物は、私が再現したものである。
静寂の夜に止まる、

闇から逃れ、光を求める者を追い払う。私は不幸の友好的な影である。
。ヴルトのすべての悪は、それが存在しないことだ。
行方不明の幻影だ。

*** **

悲鳴は生涯

の喜びの形として、乱れた魂から現れる、
他人から守られているという感覚と、魂の恐ろしいハミング。
立ち上がる者は常に倒れるとは限らないが、欺瞞から反抗へと立ち上がる。
あなたが本当に見ているのは上昇であり、崖っぷちからの転落ではない。
波の高み、緑が横たわり、青が薄れる場所。
赤は他者の主義主張に対する警告として現れる。
暗いもの、陰気なもの、軽薄なものは、状況を悪化させるかのように、常に存在
するわけではない。
悲鳴のような、静かな叫びのような絶望。
言葉で言えば、情熱を伴う超自然的な魔法との出会いを指す。
キャッチボールなしに、一文字一文字、文学的な言葉の壁が築かれていく。
必然の事実が生まれる...書くことと涙が流れる場所
その存在は、対立するものではなく、あたかも対立しているかのようである
。
南極大陸の氷が砕け散ることによって生まれる。

127

をはじく

奇跡的な存在の中にいる魔法が、まるで炎に包まれているかのように。

以前から予告されていたことを発表したいという欲求に燃えていた。

彼は執筆と翻訳を行っている。

創造の機械の負担を軽減する。

台詞と台詞の間に、1人の意見ともう1人のコメントがある。

03 2009年2月

めまい

始まり、崖っぷち、時間は儚いものではない。

ro.

スタートで出遅れると、平行線。

つま先でバランスを取り、ジャンプする。

ロー

。私は自分を打ち消すことなく、ジャンプしてめまいを想像した。想像したこ

とに、心臓が跳ねる。

旅をしない

フロントで、私は自分の人生のすべてを一瞬のうちに見た。

空中に。地面

に叩きつけられるような自由落下だった...。

...道路に光る濡れた舗装路を通り抜

け、私は深い空気を吸う。

凍えそうだ!

濡れた舗装路

暗闇に輝く冷たい水を感じると、明るく輝く空を思い出す。

そして、グラウンドはこんな感じだった.....。

...強く、その衝撃は来るべきものを破壊するだろう。時計は止まり、彼の思考
の瞬間を不滅にした。

サメント

風よりも速いスピードで、彼はピョンピョンと跳ねていた。

彼はくると身を丸め

、振り返り、登り、登り、そして出発した瞬間に戻った。

前回の

そうすれば、後がないだろう。

墜落ところから。

14 2009年2月

129

プライド

自己を感じる

私は、他者がどのように苦しんできたかを見て
きた。

そして、もう一人は他人の肌の中で
見たことがない。

援助と相互扶助

道中には小石が落ちている

このような障害があるからこそ、プライドが高まる。

私は最後まで戦うためにこの世界に来たという

信念

そして、自分自身を大切にし、
最終的には相手を知るために深
くなる。

そしてあなたの世界

*** **

フェンシング

技術には、与える打撃があ
る。

剣先の一撃 苦しみとの闘い

意味もなく力を伝える

見よ、その存在は輝い

ている。

勝者と敗者 転ぶと痛みを感じる

しかし、彼は立ち上がり、勝利す
る。彼は痛みを克服するファイターだ。

そして、勝者と敗者の栄光を見
ることができる 戦う者は皆、悲願の勝
利に値する

25 2009年2月

その朝、それは夜明け
だった...ばかばかしく、苦しい...
涙...抑えきれない叫び
しっとりとした顔で...
夜明けの朝の
もういた...。時は過ぎ...嘆きが起った...
そして彼は私に警戒するように言った...。
訪れる太陽に...そして涙
は蒸発する...
その流れは...雲に覆
われた世界は
彼らはスマイルと言った。

*** **

131

シンプル

愕然としながら、私はした...。これからのことを...
私がコントロールして、本当にテストするつもりだった...。決断
は下された...
いきなりは出てこない...。出て
くるはずだった...。
私が経験していた感覚の深みから...習慣の時間が去ろうとしていた
...
勇気と忍耐...それは私の希望を煽った...

深淵がより鮮明になった.....。
そして霧と危険な風の中から...克服しようとする意
志が生まれた...成し遂げようとする何かが...
幸運が訪れようとしていた...自己を
愛する時...
そして試合やバトルでの進歩...必ず...
鮮明なシュートだった...。
それから数日間...ポインターは正しかった...
時、分、秒を読むと...。
そして私は、まるで魔法にかかったかのように、自分自
身を解放した...。あの日、私が見たものは...
幸せで満足している...普通の人よ
りも...彼は違った...
それは心から出たものだ...。それは必ず
起こる...それは起こるだろう...
単に...

132

2009年2月28日

ウェブ

.....自分の周りを真剣に見てみた.....。風景
を見たが、醜くはない...社会を見てきた...
あるウェブで見たんだ。

つながっているし、クモを想像したんだ...。
それは筋書きだった...本
当のドラマ...
死は蜘蛛の訪問だった...そして蜘蛛の巣は、蜘蛛にとって一種の晩餐だった...。
クモは最も苦しんでいる者を奪い、最も苦しんでいない者を織った...。
それは人々を刺し、まるで眠らせるかのように.....この食いしん坊は皆を襲った.....」。
ある日、私は彼の網の中で死んだ人たちの夢を見た...。
醜い蜘蛛だった...死は存在しなくなった...
そして死は屈する...。それが不死の夢だった...
蜘蛛の巣も蜘蛛も命も恐れない...。私たちは皆、屈服してしまふ。蜘蛛の巣を作り、できれば善良であれ...。
人生が醜くならないように...生きる意志を持ち、蜘蛛を見ないために...
終わりのような...むしろサイクルの終わり...社会／ウェブの...それは常に建設中だ...蜘蛛の巣の構築は進化であり...クモに解決策はない...蜘蛛の巣、醜い蜘蛛、そして私...。
想像力...

133

16 2009年3月

コーヒーライト

タバコとタバコの間

ひどく消された
そして焙煎コーヒー
私はこの空間にいる
風通しがよく、人通りの多い場所だ。
未来の自分が見える場所
から
このスペースで絆をつくる。
それを達成したい
約2,000時間、1日1時間、このスペースに専念
している。
具体的には、「Luzes café」と呼ばれるカフェで、行間を照らしたいと思っている。
私の日常
リラックスしたエネルギーを感じる

少しでも毎日書き続ける
絶え間ない創造、放
浪、思考 そして書くことは、
私にとってエキサイティングで
やりがいのあることだ。

*** **

海

私の世界の底には生命がある！

インクが流れているのが見える。

美しい行間を創る テキスト、フレーズ

、詩

あるいは、単純な反省でもいい。

私の海には意図がある 手紙は

狩られる

多様性を感じる心を深く突

く銛で

感情、感覚、でも大切なのは

、私たちの海に飛び込むこと

、そして何よりも、さまざま

な海を通して愛すること。

16 2009年3月

ランタン私は
ランタンに火を灯す 力か
らエネルギーへ 見よ、そ
れは消える
照らされ
た空虚、充実感とともに私の中で目
覚める
果てしない憧れ 偶然にも光
り輝く炎が過ぎゆく午後を照ら
す
ゆっくりと、とてものにびりと。それ
は輝かしいまなざしのわずか
な目覚めであり、まるで征服
が生まれるかのようだ。
濃密で強烈な香
水を吐き出している知る
そして伝染する。
同じ空気を吸えない毎日が
どんなにいいことか。

*** **

スマイル

笑顔は必ずしも必要ではな

い

控えめな微笑み。

喜びと甘えの魅力 時を超えた喜び と

ても自然でリラックスしている

あなたが賢明に微笑むとき、その輝きが

私を打つ。

あなたは嘘をつかないし、私

に触れると息をのむほど違う。

私は軽くなる しばし深く考える 幸福

とは何か

陽気な笑顔の二面性から、

輝きに満ちた表情へ。

私はいかにして生きてきたか

18 2009年3月

ファド

ファド 憧れ

を示す運命

年齢を感じさ

せない 砂漠は遠いがとても近

い

あなたに会いたいという

渴望から、あなたが欲しいという

欲望へ

あなただけに

*** **

138

フィーリング

感じたことをすべて書き留める

わけではない

しかし、私は書いていることを

感じている。

シンプルだが

私の心が聞くものを減らさない

でほしい。

*** **

風の便り

風があなたを運

んでくれるなら

一言

雨と一緒に書くハガキに書くこ
と

その中で
、私は太陽の絵とその光線を描
き、あなたにこう言うだろう。

あなたは私のエネルギーで
あり、私の太陽はいつもあな
たのために輝いている。

そんな日でも
雪が降っ
ている、そう思っていた
。

139

2009年3月19日

考え、反省し、行動するかしないか

それを表現することは
できない。

感じること、そして表現しな
いこと 存在しているだけで十
分なこともある。

反応する前に 感じるように
プロセスとフリ そのように装
う

思想統制

すぐに行動するかしない

か、これが賢明な判断だ

。

反省の後の気持ち

そう、私たちが感じないかもしれ

ない反応も、私たちは感じるかも

しれない。

反応しない

何も考えず、ただ在る

存在感とはつまり

23 2009年3月

障害物 障害物ではな

いショーそのもの 恐れること

なく勝つ

時には痛みを感じることもある。

そして自分自身を成長させるために戦う

。

そして学ぶ。

損失や不運に反応する 障害を克服するこ

とは

自己の最大化 克服とは
征服し、与える究極の喜び
私たちにとって、自分自身を
凌駕し
敗北から学ぶこと
で価値を得る
そして最後に、勝つこ
とこそが本質なのだ。
リビング

25 2009年3月

海上の渦巻き 海に巻き上が
る水、砂

A rar

一滴一滴 一粒一

粒

地面を転がる風を片手でつ

かむ

海のしずく 海の風景の砂のし

ずく 手のひらの中に広がる広

大さ 緩み、解き放たれ、広が

る すべてを手にした者の感覚

でも、すべてを手に入れることはでき
ないし、すべてを達成することも
できない。

私たちが保管しているものが、私たちの手を
すり抜けてしまうことがある。
心の中で、手の中で感じる

すべてのものには感情があり、そ
れが旋風を巻き起こす。

29 2009年6月

私が話していることが真実というわけではないが、嘘ではない。
もちろんだ!

142

喪失の焼けるような痛み。私は何をしたのだろうか？

夢は見えていない、起きて待っているから。

あなたは来てくれる、私を奪い、元に戻し、壊し、墮落させ、あなたはそこに
いないと言うこのざわめきから私を救ってくれる！私がいるところでは、私は
もっと多くを望み、ただ存在呼吸することに耐えられない。

私は前を向いて歩いているのに、何かが私をそれ以上先に進ませない。

自分がそこにいないところ、あるいは自分がそこにいるとは思っていないと
ころを行ったり来たりするからだ。

逃げ出したくなり、タバコを置き、岩にぶつかり、くすぶる。

私の心は、また火をつけたくなるまで消えてしまう煙草のようなものだ。

あなたは私を締め付ける人であり、結び目をほどく人だ。なぜなら
、私はそうしたくないからだ。
自分で自分を。
私はあなたが言うような人間にはなりたくない。
私が感じるもの
。その盲目の結び目は、首を絞め、圧迫し、破壊することに気づかない。
その同点が破られる。
すべてがゼロに戻る。私は
何の論理的フォローもなく、ただ0になりたい。プラスにもマイナスにもなり
たくないのに、あなたはこう主張する。
やるしかない。
ほっといてくれ。

143

なぜ泣いているんだろう？
でも、なぜ涙が落ちるのか、そして手放すのか、あなたはいつもわかっている。
泣きたい、手放したい。
苦い思いは熱い冷たさを残して私を震え上がらせるが、泣いて笑って感じる価値はある。涙は流さないが常に潜んでいて、無関心の涙が私の頬を伝う。

あなたはどんな人？ 平凡で、自分が
思っているような、パ...
ドローン
何をあてにしようが構わない。

あなたが私に与えてくれないもの、そして私が必要としているものを、あなたは私に与えてくれない。

あ

なたが欲しい。私は私が

欲しい。

私は、私が思っていたよう、あるいはそうでなかった、いつもあなたが

欲しい。

私は私だ。

どうしてこんな話を始めたのかわからないが、私は矢も弓も持っていないし、的も持っていない。

狙って打っているのではない、ない、打っているのはだと感じている、矢は心臓に刺さっている、だから痛いのだ。孤独な心、活性化しない一撃によって傷ついた、汲み上げたいという欲望のために痛みは強すぎる。

私は自由ではない

。完全に自由になることはない。私は自由を愛しているが、私を愛する人たちに縛られていると感じている。

なぜ彼らは私を愛してい

るのだろう？ 愛されて

いるのだろうか？

自由で誰かに縛られたい。私は感じたい。

何も理解したくないし、何も考えたくない。あなたが私を侵すから、私は近づいてくるものから距離を置きたい。

自由だ

と言う愛はいらない。彼らが自由だと言うような愛はいらない。私はただ自分の中にあるものを解放する。

苦悩、喪失感。彼はもういない

。

私は、あなたがことを感じないまま、その瞬間を迎えた。

この性質は、やっでは元に戻し、さらに、私たちが何をしようとしているのかを
教えてくれる。

何もしたくない、遠くには行きたくない、行かないところに行きたい。

私は何も去る。

泣かないし、笑わないし、考えないし、見ない。

なんという悲劇だろう！

いつか私も屈服するだろう。

どうして？

そう、なぜこうなのか、なぜこうなのかと問うが、すでに言われたこと

は考えたくない。

私は戦いたくない。

決してなかつ

た。その声は嘆く者を苦しめる。

ちょっと待ってくれ。

私は旅をし、辛抱強く行き来する。

なんて言ったらいいんだろう、私は何も持っていないし、あまり持っていない
し、とても欠けている。

これ以上いらないという存在が、私を侵してくる。私はしたくない

。

私は戻りたくない。

音楽が流れ、風が吹く。悪魔にも

天使にもなりたくない。

私は天国も地獄も望まない。

すべてが存在する地球が欲しい。

私は離れたくないし、今いる場所に留まりたい。

それについて考

えること。自分の存在を想像し、創造する。

ただ呼吸する空気が欲しい。呼吸する
空気のようにゆるやかでありたい。

私は見た、嗅いだ、聞いた、そしてあなたが思ってもみなかったことも話した
。

ここまで話したのに、何も、あるいはほとんど何もあなたに触れていない。
あなたの関心を引くことを求めるのは行き過ぎで、もう誘惑はいらない。
私は生のあなたに会いたい。

私が生きている肉であることを感じてもらうために、時には皮膚をはぎ取り、
皮膚をはぎ取られて苦しんでいることを感じてもらうためにね。

146 皮膚の成長や修復が難しい。

あなたのために、私はだらけの生きた肉です。

何を表現したいのかわからない。でも、何

かに押しつぶされそうになる。

というのも、私は心の底では、あらゆるものを少しずつ、あるいはまったく何も持たず
にいたかったからだ。

私には何の価値もない。私は孤独で、

あなたは以前より孤独になった。

後で読むことになるもの、ことを書いていた。

簡単なことではないと思う

。多くのことが語られることはないだろうし、多くのことが
それは理解されないだろう。

却下された。

私は自分を貧しくするものを激しく拒絶したい。

些細なことは感動の中心には位置しない。

ほんのひと目見ただけで、私たちの心には何が刻まれるのだろう。

彼はそれに耐えられないし、見たくもないのだが、目で見ただけを感じている。

決して心の目を開いてはならない。なぜなら、心が見えなくなり、苦しむからだ。

私はここにいる

。私が見え

る？

そうは！私を感じる

？私もそうは思わない！私をどう

思う？

フム、君が僕を忘れないように、僕はここに残ったんだ。

でも、私はここにいる。

147

私は偽らない

書いて、流れに任せる。

私が書きたいのは、間違いなく涙のことだ。悲しい、寂しい、濡れている、緩んでいる。

あなたの涙を、痛みを、悲しみを、孤独を、孤独の息苦しさを、拭わせてください。

君の涙を舐めさせてくれ、君が感じる痛みを飲みほしたい。

一人で、一人で

私と一緒に、これが私、ただ私!

僕って何なんだ

ろう?

その感覚は、本当に感じられる痛みへと広がっていく。

da.

私たちであることをどう感じるか

自己を考えることは、外から来るものを越えることだ。内側に向か
えば、自分が存在することがわかる。他者にとって存在するためには、彼らが

私たちを見るだけでいい。

私は私だ。

ルーズページ、ルーズリ

ーフ、

ゆるい文章、

すべてを吐き出したい、何も残したくない、自分を空っぽにしたい、そうす
ることでは私は進化できない、書いたものすべてが蒸発するんだ、

あと一文の痛み、一語一語のあなたの痛み、私は自分自身を解放するために書き
たい。

私は苦しみたくない。

Another day 朝、

爽やかな朝の空気も騒々しい。夜がいい、静かな夜がいい。

きた光。

沈黙と闇をひとつにしよう。停電を明るくしよう。

詩、歌、魅力、魔法、詩、フレーズ。暗い夜、あなたの光になりたい

。

どうやって自分を解放したのか…。

深い潮の流れの奥で…人魚のハーブがけたたましく鳴り響く。

私はここに留まって見ていたい

あなたのために、これからことは内緒で。決してあなたを忘れないために。

何もない

！私は欲しくな

った、

この言葉の目的は何もない。読んでほしくないし、こ

れ以上書きたくもない。

いつか君にことがあるんだ。

でも、今はただ、何もないところが少し欲しかった。

149

読んでもらえるかどうか分からないし、私の言うことを理解してもらえるかどうか分からない。

私があなたに気づいて理解してほしいのは、あなたは私にとって大切な存在であるということ。

でも、誰にも言わないよ。

私は死が私を失望させるのを待つ。

死？ 死は存在

しない！

そしてそれはいつもそこにある。私は死

を恐れているのではなく、あなたを失うことを恐れているのです。

何が痛いというわけではないが、あるのとないう痛みが違う。

私は何も望んでいない。

私は欲しい、何も欲しくない、繰り返す。私はそれを知らなかったとき、すべてを持っていた。そして今、あるものを知ったから、何も欲しくない。あるものとなないものを拒絶すれば、私は自由になれる。私を縛るものすべてから解放され、苦い思い、持つべきものを手放すだろう。

もういい！ 私は私でいい？

そう、私以外の何者でもない、この何もない状態を私も望んでいないのだから。

"タイムレス" それ

はノックし、またノックした。それは絶え間なくノックし、流れた。

異常や傷の前例もなく．．．そしてある日、それは開いた...

もう二度とやらないよ。

開いていたのに一瞬で閉じた。

どう発音すればいいんだろう、僕のものだった、いつも僕のものだった.....。

しかし、最終的にあなた

は...彼、あなた、そ

して私

一言で言えば、...

心！ ...である

ことの深い悲しみ

自分を知らないことだ自覚し、自分と

もに生きることを学ぶ。

INTIMATE ...

見よ、深淵は小さい...持つことと所属することは、

常に対立するものだ。

VANECE ...

まるで退位するかのように、嫌な顔ひとつせず

...

ただそうありたいという本質の中で.....

それは、心の奥底に見える自分自身から.....。

そして、これほど劣っているものはことがわかる.....

どのように優れているか...

ここで、私はある考えを述べるだろう。自分自身を置くレベルが低ければ低いほど

...

その優れた存在がどのように近づいてのか.....。

無限の知識...常にユートピア的、

見よ、存在が生まれ、生き、学び、そして.....。あなたが本当に気づくとき...

あなたは自分が知ることから遠く離れていることをよく知っている...すべてと自分自身の存在を...

何が変わったのか？

すべてが.....私の世界が変わる！なぜ？

なぜなら私は.....変化し、すべてに直面

することを望んでいるか.....しかし、ほとんどすべて.....

私の世界...私の無言の世界？

それが知性だ

誰が私に、正しい方法で.....行動するよ

うに言うのか？想像してください！

限界のない成層圏の次元では、幻影そのもののレベルでは、時を経ても手に入らない魔法の幻滅が、いつもテ

どんな調和にも打ち勝つ単純な苦悩が、親密な葛藤を生む。

謎めいた、深遠で繊細なこのエネルギーは、レター・プラス・レトラ、あるいは少なすぎる単語に対して多すぎる文字の、拘束力のないエネルギーである。

ここにあるメンヒルは沈殿が進んでいろいろ書くとすぐに残ってしまう。

DITA多

くのがあなたのもとを去り、他のものは無価値となる。最も大きなものは、いじめっ子のためのものであることをあなたに伝えるために、私はあなたを "利用" する。生きること、成長すること、学ぶこと、そして心の底では何もしないこと。

ユートピア的な小さな知識を予習する。文章を書くということは、科学的な知識から普通の知識を理解する目利きを統合することであり、両者は心の深い賢さによってのみ説明できるのだということを、少しずつ学ぶ日なのだ。

+

終えたいところから始めるよ。

部屋に煙が充満。室内も荒らされている。

私はあなたたちと別れたい。成功するかな？

強さ、強さ、強さが私を追い求め、恐れずに前へ進めと言う

！

私の日々が終わる前に、あなたは終わる。

私のように、外から来るものすべてを拒絶するつもりだ

私はそれを感じるつもりだ...わからないが、ここに私の小さな物語を残しておこう...

このページを見ているということは、私の小さな物語に興味があるのだろう。

このページでこれから話すことは、私が見つけるためのものだ。

外界を持たない、私の中に宿る真の存在。

どうしてこんなことが可能なのだろうか？ 私の話をどう説明するか見てみよう

今のところ動いてはいないが、一歩下がって前進する準備はできている。煙

はこの空間に浸透し続けている。

この物語は終わるところから始まる。私が伝えたいのは、すべ

てとの戦いだ。最後まで行って言えるかな：

内なる自己を最大限に引き出すように。

もうここにあるんだ、すぐにシガレットに合わせたよ

数

閲覧したページの

戦いに集中しよう。

時間、分、秒を吹き飛ばす。終わりだ！

続きから始めよう。

この煙が窓を突き破って空中に放出される準備はできている。空中からしか

存在しないこの煙になりたい。

ただ空気を吸いたいただけなんだ。

これから話すことを浮かべて想像してみたい。私はやりたくないことをす

る。同じことを何度も何度も繰り返すことから始める。

というエラーが出た。

戦いはいない。

私があなたに伝えたいのは、感情であり、状況であり、そして

葛藤。そして

てその葛藤は、自分という存在を克服することにある

。

私は他者であり、私を追い求める存在でありたい。私に警告し

、教えてくれる私自身の良心：

浮上し、自分に打ち勝つ

。ここに私は立っているが、動きと戦っている。

だから

私は追い求

める。わがヴルトよ、わが自己のもとに

来たれ。

自分を解放し、拡大し、私をあなたのようにさせてください。

。ここから

私の始まった。

154

後退することなく前進する姿はどんな疑念を抱かせるのだろう。

が私を追いかける

。やり遂げ、実現させ、生き、感じるために生まれ変わる。デマゴギーや幻

想を排して、できないことをする。

ご覧ください。

それが前進する唯一の方法だから。私は私でありたい。私は私

であり、私は私である。

想像通りになる。追いかけてくる

やつには先に行けと言っておくよ。

私と向き合えば、私は自由になれる。終

わりはまだ始まっていない。

思ったことすべて。あなた

につきまとうこの存在に気をつけなさい。

ケーブルはあなたの味方だ。

私はもうこの瞬間を後悔していない。苦しみの終わり

が来て、彼は私に触れ、こうつぶやいた。

ルー

：そこにい

るの？

ここで報告するのは、原則の終わりである。

もういい、私のと

ころに来て、勝利まで私を取り込んでくれ。

あなたは私になった。私を所有する！

あなたは私の最後の匂いとなる。そう、あなたは去

るのだ。

私はあなたの旅立ちを悲しんでいるわけではない。むしろ、あ

なたの旅立ちを楽しみにしている。

来たように行き、来たように去る。私はあなたを必要としていないが

、あなたは計り知れない不幸だ。あなたの存在は侮辱だ。

あなたにとって、私が勝ったことがなく、負けたことしかないことは知っている

。

あなたはタバコの煙のようなもので、病気の友だ。

あっちへ行け、あっちへ行け、君が来るときには僕はいないよ。言ったよ

うに、私は行くだけであなたの匂いを発散する…。私は別の味と香りを得る

。

おそらく、あなたは自分が何を提案しているのか知らないし、考えてもいない
のだろう。

私が覚えている限り、私は数年前からあなたを知っている。だから今、あなたと
一緒にいたいという気持ちがここにある。

最初はあなたの存在を悼むだろうけど、

より小さな悪に対する吉兆。

あなたは対象であり、私は私たちのつながりを作り出す。

むしろ劣悪な生活環境に対する幻想。私はあえて窮乏を求める。そうするこ
とでしか、明るく、自然であることはできないからだ。

私を養う空気。

フレッシュで、穏やかで、温かく、調和のとれた代償となるだろう。

自然の風は天気のように流れ、常に北風である。私たちに吹き付ける気流は

私たちの前に立ちはだかる嵐、これほど自然なことはない。

空気中の煙そのものよりも。外界の

自然の中に、私たちは何を見出すのだろうか？

自由な存在の調和

流れの中で。解放

の根源が花開き、成長し、沈殿する。

ção。

私たちの会議の紛れもない意志は、まさに

時の薔薇

156

理性を固める砂漠の砂のようなもの。平凡な人間のイメージから自

らを解き放ち、私たちを隔てる親密な関係の奇抜さへ。私たちは違う。私は自

然で有機的で、あなたは人工的だ。

サイアル

そして合成的で、だからこそ私なしでは自分を表現できない。

私が中和する行為がなければ、あなたは私を幸せにする。私がドアを開

けてあげるから、私と話しに来て。

でも、あなたがまっすぐ帰れるように、開けっ放しにしておくわ。ヴルト、

自分の増殖に気づいているか？

忍耐

不安の。あなたは重要な存

在ではないし、これから重要な存在にはならない。

誰にでもこういう愚かな時期がある。

子ども。で

も、もし私たちが大人として、自分の中にある子供を解放するように言われ

たら、だからこそ、私もあなたと一緒にいた。

悪い段階。

私は患者の静けさに戻る。行っていいよ、ドアは口

ックしておくから。

なぜ来たかは知っているが、どこへ行くかも知っている

あなたは

運転する。深淵は広く、手放す思いはより広い。

ガーだ。

私を置いて逃げ、閉じこもって爆発する。

初日から、あなたの言葉は私のもの

でも、今度教えてくれるときは、私を仲間外れにしないでね、

こんにちは、私はここにいます。でも、あなたの旅はきっと、厳しくも調和のとれた現実に戻ることでしょう。

私たちを侵略させたいのなら、私いるものは何ですか？ あなたから一言、さようなら。

そして、あなたは...

最後の時だった...憧れは終わりを告げた。涙がこぼれ、叫びを消した。

私を締め付けるロープは、私を窒息させるロープとは違う。私の喉の結び目は、糸で留められている。

心を締め付け、良心を窒息させる。

あなたが提供するものは、若返りと緩慢な死である。

このように歩き、このように話す。人生の修羅場を一撃で切り裂く鋭い痛みは、決して消えることはない。

私の記憶の一番上にあるのは、壊滅的な、幽霊のような一撃だ。

存在することと存在しないことの間にある、二律背反的な存在。人生の旅は、写真のような瞬間だった。

一瞬にして空っぽになる。なぜなら、あなたは私の外で私
の中に生きているから。運命を消し去り、分数を生きる。

その時を超えた感覚は、次の数瞬間に広がる。席を立たずに空を飛ぶように。

その瞬間は決して止まることがない、

何があなたを呼吸させるのか。

生きるということは、息をしたいという衝動と同じくらい強いものだ

。しかし、ただ呼吸することは生きることではない。

生きることをやめたとき、呼吸は止まらなかった。

だからこそ、私たちにもたらされるのはイマなのだ。

無力。限界も結果もなく、

次のステージへ。あらゆる瞬間に、別のものであることから生まれるもの。

158

本当のところはどうなのか？

ソモ、この断崖絶壁の幻想は、自虐的である。

生きている間、私たちを感動させるのは、私

たちを取り囲み、私たちを拘束するこの自然である。

私たちの注意をそらすだけだ、

つまり、その瞬間のすべての吸収は単なる……

自然はすべてのフレームをランダムかつ超相

関的に反映するため、幻想的なのだ。

はるかに高い。

人間の動きの瞬間。私」の姿の周囲に現れるも

のはすべて、外面的なものである。

拡大する

しかし、気が散っている感覚だけを捉えることはできない。

私たちを動かして

いる大いなる存在、母なる自然。

もし、高潔で矛盾したテ

侵す

の学習とアウトプットにはかなわない。

どんな衝動も。あなたが

巨大で遠い思考から抜け出したのは良いことだ.....。

メンツ。

私が話したい...あなたが決めてください。

ブラステ

役割を逆転させ、黙れと言う。言葉の飛翔は行為で

ある。

あなたを無視して去らせる方法あなたは風の影の

中を飛んでいる。

なぜ隠れるんだ？

レス。

？

誰かの面倒を見ることで、単なる不幸以外の友人を得ることができる。

すべてが蒸発する。

159

こうして、10まで数えて、未来の窓の瞬の垣間見る瞬間が、吹き荒れる
最後の煙だけを見ることになり、未来のクリックがいかに大きくなるかを悟っ

たのだった。

広大だ。

